

第2款 総務費

予算現額及び決算額欄中（ ）内の数字は、歳入歳出決算事項別明細書の当該日に係る額を示す。

科 目	予算現額	決算額	主要な施策	施策の実施状況と成果等									
	円	円											
1 総務管理費													
1 一般管理費 (P70)	82,436,000 (5,927,003,000)	78,451,484 (5,862,317,856)	レニングラード州友好 提携25周年記念事業 (国際課)	<p>1 施策の趣旨等 府とロシア連邦レニングラード州との友好提携25周年を記念して、訪問団の受入や経済・文化等の分野での交流拡大を図る。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 職業技術分野での交流 府内で高等職業技術を学ぶ訓練生や教員をレニングラード州に派遣し、ロシア連邦の職業技術や文化への理解を深めるとともに、同世代の学生との交流を図った。 期間：令和元年8月4日～10日（7日間） 派遣者数：10人</p> <p>(2) 文化芸術分野での交流 ロシア民族楽器楽団を招へいし、府内文化芸術団体との交流、府民向けの音楽コンサートを実施し、府民のレニングラード州への理解を深めた。 期間：令和2年1月22日～25日（4日間） 交流事業参加者数：500人</p> <p>3 執行額 2,507,850円</p>									
			留学生総合支援事業 (国際課) (人材確保推進室)	<p>1 施策の趣旨等 海外から留学生を積極的に受け入れ、彼等の知識や経験を地域の国際化・活性化に活かすため、オール京都で留学生を誘致・支援する。</p> <table border="0"> <tr> <td>指 標</td> <td>目 標</td> <td>実 績</td> </tr> <tr> <td>府内の留学生数</td> <td>10,000人</td> <td>10,942人</td> </tr> <tr> <td>留学生の就職内定者数</td> <td>370</td> <td>404</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 留学生スタディ京都ネットワーク事業 ア 京都留学に関する総合ポータルサイトの運営 学校情報や生活情報等、京都地域の留学に関する情報を一元化した総合的なポータルサイト「STUDY KYOTO」を運営した。 対応言語 7言語（英語、中国語（簡体字、繁体字）、ハングル、タイ語、</p>	指 標	目 標	実 績	府内の留学生数	10,000人	10,942人	留学生の就職内定者数	370	404
指 標	目 標	実 績											
府内の留学生数	10,000人	10,942人											
留学生の就職内定者数	370	404											

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<p style="text-align: center;">ベトナム語、日本語)</p> <p>アクセス件数 164,452件</p> <p>イ 留学コーディネータの配置 京都留学に関する相談・問合せへの対応や関係機関とのコーディネートを実施した。</p> <p>ウ 海外での京都留学説明会等の開催・出展 関係機関との連携による京都留学説明会の開催や独立行政法人日本学生支援機構が開催する日本留学フェアへのブース出展等を通じて、現地の学生、教育機関及び留学関連事業者等への京都留学情報の発信等を行った。 京都留学説明会等の開催 2箇国 2会場 日本留学フェアへの出展 3 3</p> <p>エ 留学生向け有給インターンシップの実施 派遣留学生数 27人 派遣企業数 17社</p> <p>オ 留学生のための住宅情報サイトの運営</p> <p>カ 京都ジョブパークでの留学生の就職支援 留学生向け就職・生活相談件数 2,505件 就職活動セミナー開催回数 55回 参加留学生数 548人 企業交流会開催回数 8 " 229 参加企業数 65社</p> <p>キ 首都圏での留学生誘致活動 関係機関と連携し、首都圏の日本語学校で京都進学説明会等の誘致活動を行った。</p> <p>(2) きょうと留学生宿舎グループ事業 きょうと留学生オリエンテーションセンター（きょうと留学生ハウス・さつき寮・みずき寮）において、入居留学生に対する様々な交流支援事業や生活ルールの指導等を行うことにより、日本で自立した生活ができるよう支援した。 きょうと留学生ハウス（上京区） 38室 さつき寮（上京区） 45 みずき寮（左京区） 44</p> <p>(3) きょうと留学生日本文化体験事業 京都に来られた留学生が、様々な京都の伝統文化・芸能等を体験することにより、「親京都派」として、その経験を地域の国際化・活性化に活かすため、文化体験等の受講を支援した。 ア 留学生日本文化マスター養成コース 参加留学生数 15人 イ 京都まるごと体験コース 参加留学生数 26人</p> <p>(4) 留学生府内就労促進事業 留学生の府内就労を促進し、中小企業等における人手不足解消にも寄与するため、「留</p>

			<p>多文化共生推進事業 (国際課)</p>	<p>学生ジョブ博」を開催するとともに、ビジネス場面で必要とされる日本語能力の養成研修を実施した。</p> <p>ア 留学生ジョブ博の開催 参加留学生数 47人 参加企業数 25社</p> <p>イ 日本語能力養成研修の実施 受講留学生数 43人</p> <p>3 執行額 30,302,577円 (うち委託料 10,892,200円 負担金 7,934,948)</p> <p>1 施策の趣旨等 新しい在留資格の創設等、在住外国人の増加が見込まれる中、外国人の受入環境の整備を図り、多文化共生を推進する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 京都府外国人住民総合相談窓口の設置 在住外国人に対する生活情報の提供・相談を行う「京都府外国人住民総合相談窓口」を公益財団法人京都府国際センターに設置した。 相談件数 2,066件</p> <p>(2) 府内における日本語教育の総合的な体制づくり 日本語教育の実態調査を行い、課題とニーズを把握するとともに、「地域における日本語教育推進プラン」を策定した。</p> <p>(3) 多文化共生施策の検討 在住外国人が府内で生活するに際しての課題抽出やその解決のための施策について「京都府外国人材受入れ・共生推進本部会議」等において検討を行った。</p> <p>3 執行額 10,694,958円 (うち委託料 4,191,000円 補助金 6,206,000)</p> <p>1 施策の趣旨等 「きょうと地域創生府民会議」が地域創生を盛り上げるために実施する「府民交流フェスタ」や「きょうと地域力UP大作戦」の開催支援等により、地域創生の機運醸成及び地域力のさらなる推進を図る。</p>
			<p>きょうと地域創生・地域力拡大事業 (企画参事)</p>	<p>学生ジョブ博」を開催するとともに、ビジネス場面で必要とされる日本語能力の養成研修を実施した。</p> <p>ア 留学生ジョブ博の開催 参加留学生数 47人 参加企業数 25社</p> <p>イ 日本語能力養成研修の実施 受講留学生数 43人</p> <p>3 執行額 30,302,577円 (うち委託料 10,892,200円 負担金 7,934,948)</p> <p>1 施策の趣旨等 新しい在留資格の創設等、在住外国人の増加が見込まれる中、外国人の受入環境の整備を図り、多文化共生を推進する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 京都府外国人住民総合相談窓口の設置 在住外国人に対する生活情報の提供・相談を行う「京都府外国人住民総合相談窓口」を公益財団法人京都府国際センターに設置した。 相談件数 2,066件</p> <p>(2) 府内における日本語教育の総合的な体制づくり 日本語教育の実態調査を行い、課題とニーズを把握するとともに、「地域における日本語教育推進プラン」を策定した。</p> <p>(3) 多文化共生施策の検討 在住外国人が府内で生活するに際しての課題抽出やその解決のための施策について「京都府外国人材受入れ・共生推進本部会議」等において検討を行った。</p> <p>3 執行額 10,694,958円 (うち委託料 4,191,000円 補助金 6,206,000)</p> <p>1 施策の趣旨等 「きょうと地域創生府民会議」が地域創生を盛り上げるために実施する「府民交流フェスタ」や「きょうと地域力UP大作戦」の開催支援等により、地域創生の機運醸成及び地域力のさらなる推進を図る。</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	<p>防犯まちづくり推進事業 (安心・安全まちづくり推進課) (警察本部)</p>	<p>指標：府民交流フェスタ参加団体数及び参加者数 参加団体数 参加者数 目標：60団体以上 15,000人 実績：57団体 約12,000</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 「府民交流フェスタ」の開催 開催日 令和元年11月3日 場 所 京都府立植物園 参加者 約12,000人 (2) きょうと地域創生府民会議協賛事業 府民会議構成団体が実施する地域創生に関するイベントに対する支援 28団体 広域振興局管内で実施するイベント（きょうと地域力UP大作戦）に対する支援 4 (3) きょうと地域力UP大作戦 京都市域や各広域振興局管内において、精力的に地域活動に取り組む団体の活動をPR するイベントを実施 参加団体 150団体</p> <p>3 執 行 額 10,000,000円 (補助金)</p> <p>1 施策の趣旨等 様々な地域団体やボランティア団体等との協働による地域防犯活動を実施し、犯罪のない まちづくりを総合的に推進する。 指標：刑法犯認知件数 目標：16,300件以下 実績：15,136件</p> <p>2 施策の実施状況 (1) ビューティフル・ウィンドウズ運動 小さな犯罪の芽を摘むことで、大きな犯罪を抑止することを目的とし、地域との協働に より、花を植えるなどまち全体をきれいにする事で犯罪の起こりにくい環境づくりを 行った。 期 間 令和元年5月25日～令和2年3月25日（全15回） 場 所 鉄道駅周辺等 協働団体 各府民協働防犯ステーション他 延べ75団体、参加者延べ1,376人</p>

			<p>犯罪被害者等支援活動 推進事業 (安心・安全まち づくり推進課)</p>	<p>(2) 地域安全マップづくり講習会 子ども達自身が、どのような場所で犯罪が起こりやすいか理解し、犯罪被害を回避する能力を身に付けるための地域安全マップづくりの講習会を開催した。 期 間 令和元年10月21日～令和2年1月31日(全5回) 場 所 八幡市立さくら小学校他4校 参加者 延べ371人</p> <p>(3) 子ども・地域安全見守り隊支援 地域住民による自主的な防犯活動に必要な資機材の交付及びボランティア保険の加入により子どもの安全確保と地域防犯力の向上を図った。 交付団体 地域の子ども見守り隊 158団体</p> <p>(4) 府民防犯旬間啓発活動 犯罪のない安心・安全なまちづくりの機運を醸成するため、府内各地域で広報啓発活動を実施することで、府民一人ひとりの防犯意識の向上と犯罪を発生させない環境づくりを推進した。 期 間 令和元年7月10日～25日 場 所 商業施設、鉄道駅前等19箇所 参加者 3,900人</p> <p>(5) 再犯防止施策の推進 再犯防止推進ネットワーク会議部会(就労、非行、福祉)を開催し、立ち直り支援の課題等を検討するとともに、府民理解の一層の促進を図るため、再犯防止推進月間(7月)における啓発、職員研修等を実施した。</p> <p>(6) 「犯罪のない安心・安全なまちづくりに関する協定」締結 「京都府犯罪のない安心・安全なまちづくり計画」に基づき、「防犯」「再犯防止」「被害者支援」等を一体的に推進し、安心・安全に暮らせる共生社会を実現するため、「犯罪学研究センター」を有する龍谷大学と協定を締結した。 協定締結日 令和2年3月23日</p> <p>3 執 行 額 15,309,708円</p> <p>1 施策の趣旨等 犯罪被害者等に対する支援の充実と社会全体で犯罪被害者等をサポートする環境づくりを図る。 指標：犯罪被害者等からの相談件数 目標：1,000件以上 実績：1,340件</p> <p>2 施策の実施状況 京都府犯罪被害者サポートチームを運用するとともに、公益社団法人京都犯罪被害者支援センター及び同ほくぶ相談室が実施する相談・被害者支援事業を支援することで、社会全体で犯罪被害者等をサポートする環境づくりを促進した。</p>
--	--	--	---	--

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	<p>登下校時安全確保緊急 対策事業 (安心・安全まち づくり推進課) 警察本部</p>	<p>(1) 総合的な被害者支援のための犯罪被害者サポートチームの運用 犯罪被害者支援コーディネーターの配置 3人 相談件数 28件</p> <p>(2) 公益社団法人京都犯罪被害者支援センターへの助成 フリーダイヤルによる電話相談や臨床心理士によるカウンセリングに要する経費に対し、助成した。 フリーダイヤル相談件数 605件(うちほくぶ相談室120件) カウンセリング件数 161</p> <p>(3) 中高生を対象とした「いのちを考える教室」の開催 期間 令和元年6月14日～令和2年1月30日(全12回) 場所 同志社女子中学校他11校</p> <p>3 執 行 額 3,700,000円 (うち補助金 2,850,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 神奈川県川崎市で発生した児童等殺傷事件を受け、登下校時を中心とした子どもの安全確保を図る。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 府民協働防犯ステーション実践型講習会 登下校時を中心とした子ども達と見守り隊自身の安全を確保するため、見守り活動の技能向上や見守り時における不測時の対応等について、緊急的に警察と共催で講習会を実施した。 期 間 令和元年8月5日～26日(全5回) 場 所 府内の自動車教習所等(5箇所) 参加者 379人</p> <p>(2) 子ども見守り活動用資機材の支援 府民協働防犯ステーション(全297箇所)に対し、見守り活動時に必要な資機材(横断旗、蛍光色ベスト、拡声器、パワーライト等)を支援した。</p> <p>3 執 行 額 5,936,391円</p>

<p>2 人事管理費 (P70)</p>	<p>10,000,000 (4,263,660,000)</p>	<p>5,169,227 (4,213,561,684)</p> <p>決算額の財源 内訳 一般財源 5,169,227</p>	<p>ベンチャーチャレンジ 職員育成事業 (職員総務課 循環型社会推進課 文化芸術課 文化芸術課 農村振興課 農林水産局 社会教育課 警察本部)</p>	<p>1 施策の趣旨等 現場主義を徹底し、前例にとらわれず、民間団体等と連携して、先進性のある施策提案を行うとともに、果敢にチャレンジする職員の育成を実施する。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">指 標</td> <td style="text-align: center;">実 績</td> </tr> <tr> <td>提案・研究件数</td> <td style="text-align: center;">2 件</td> </tr> <tr> <td>うち海外調査件数</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>事業化比率</td> <td style="text-align: center;">100% (予算要求のあった2件中2件)</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況 職員が府政全般に関する課題について、市町村、大学、民間企業やNPO等と連携・協力し、専門家の意見を踏まえた幅広い視点から、その解決策を研究、提案し、事業化に繋げた。</p> <p>3 執 行 額 5,169,227円</p>	指 標	実 績	提案・研究件数	2 件	うち海外調査件数	0	事業化比率	100% (予算要求のあった2件中2件)
指 標	実 績											
提案・研究件数	2 件											
うち海外調査件数	0											
事業化比率	100% (予算要求のあった2件中2件)											
<p>7 財産管理費 (P74)</p>	<p>543,006,680 (1,428,859,680)</p>	<p>543,006,680 (1,427,927,272)</p> <p>決算額の財源 内訳 府 債 415,000,000 一般財源 128,006,680</p>	<p>新行政棟・文化庁移転 施設整備事業 (災害対策課 府有資産活用課 文化政策室)</p>	<p>1 施策の趣旨等 文化庁移転に向け、新行政棟建設及び京都府警察本部本館改修等を行う。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 新行政棟・文化庁移転施設整備 新行政棟建設及び京都府警察本部本館改修に係る実施設計、埋蔵文化財調査等を実施した。 (2) 府庁第3号館の解体等 府庁第3号館を解体・撤去するとともに、仮移転先である京都産業大学むすびわざ館を賃借した。</p> <p>3 執 行 額 543,006,680円 (うち委託料 347,784,140円 工事請負費 107,675,472円)</p>								
<p>8 文化芸術費 (P74)</p>	<p>538,390,000 (930,032,000)</p> <p>翌年度への繰越 事業費繰越額 105,000,000 (文化芸術施設整 備事業費)</p>	<p>422,785,437 (813,739,061)</p> <p>決算額の財源 内訳 国庫支出金 85,789,416 繰 入 金 39,780,000</p>	<p>文化を担う人づくり事 業 (文化芸術課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 学校や地域の文化施設と連携した小中学生等への「質の高い芸術文化」や「地域文化」を活かした文化体験機会の提供や全国トップレベルの高校生が京都に集い、日頃の成果を披露し合い、交流する「全国高校生伝統文化フェスティバル」等を実施する。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">指 標</td> <td style="text-align: center;">目 標</td> <td style="text-align: center;">実 績</td> </tr> <tr> <td>児童生徒等が学校等で体験する文化活動事業数</td> <td style="text-align: center;">80件</td> <td style="text-align: center;">55件</td> </tr> </table>	指 標	目 標	実 績	児童生徒等が学校等で体験する文化活動事業数	80件	55件		
指 標	目 標	実 績										
児童生徒等が学校等で体験する文化活動事業数	80件	55件										

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等																				
	<p style="text-align: right;">円</p> <p>府 債 113,000,000 一 般 財 源 184,216,021</p>	<p style="text-align: right;">円</p>	<p>こころを育む古典の日 推進事業 (文化芸術課)</p>	<p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 文化を未来に伝える次世代育み事業 優れた専門講師を派遣し、質の高い、また各地域に根ざした文化芸術を、学校や地域で体験・体感できる機会を提供した。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>小・中・高・特別支援学校等での芸術体験</td> <td style="text-align: right;">35件</td> </tr> <tr> <td>地域の文化会館等での地域文化承継事業</td> <td style="text-align: right;">15</td> </tr> <tr> <td>指導者向け講座</td> <td style="text-align: right;">2</td> </tr> <tr> <td>就学前等の子ども向け事業</td> <td style="text-align: right;">3</td> </tr> </table> <p>(2) 古典芸能普及促進 京都の歴史と伝統に育まれてきた古典芸能を継承し、技術を未来に引き継ぐため、古典芸能団体に助成を行った。</p> <p style="text-align: right;">助成件数 33件</p> <p>(3) 全国高校生伝統文化フェスティバル開催事業 次世代の文化活動の夢や希望、目標の場として、「全国高校生伝統文化フェスティバル」を文化庁と共同開催した。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">場 所</td> <td style="text-align: center;">開 催 日</td> <td style="text-align: center;">参加者数 (観覧者含む)</td> </tr> <tr> <td>京都コンサートホール他</td> <td>令和元年12月14日、15日</td> <td>約3,140人</td> </tr> </table> <p>3 執 行 額</p> <p style="text-align: right;">37,884,869円</p> <p style="text-align: right;">(うち 委託料 26,331,620円 負担金 7,808,030)</p> <p>1 施策の趣旨等 「古典の日」の法制化を踏まえ、古典に親しみ、次世代へとつないでいくための新たな一歩を踏み出すため、他府県と連携した全国展開活動や学校における古典教育の充実等を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 古典の日推進フォーラム及び古典の日朗読コンテストを開催し、府民が古典に親しむ機会づくりを進め、「古典の日」の普及・定着を図った。</p> <p>(1) 「古典の日10周年記念フォーラム2019」の開催</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">場 所</td> <td style="text-align: center;">開 催 日</td> <td style="text-align: center;">参加者数</td> </tr> <tr> <td>京都コンサートホール</td> <td>令和元年11月1日</td> <td>1,610人</td> </tr> </table> <p>(2) 第11回古典の日朗読コンテストの実施 応募419作品 受賞9作品</p>	小・中・高・特別支援学校等での芸術体験	35件	地域の文化会館等での地域文化承継事業	15	指導者向け講座	2	就学前等の子ども向け事業	3	場 所	開 催 日	参加者数 (観覧者含む)	京都コンサートホール他	令和元年12月14日、15日	約3,140人	場 所	開 催 日	参加者数	京都コンサートホール	令和元年11月1日	1,610人
小・中・高・特別支援学校等での芸術体験	35件																							
地域の文化会館等での地域文化承継事業	15																							
指導者向け講座	2																							
就学前等の子ども向け事業	3																							
場 所	開 催 日	参加者数 (観覧者含む)																						
京都コンサートホール他	令和元年12月14日、15日	約3,140人																						
場 所	開 催 日	参加者数																						
京都コンサートホール	令和元年11月1日	1,610人																						

			<p>文化創造促進事業 (文化芸術課)</p>	<p>3 執行額 7,500,000円 (負担金)</p> <p>1 施策の趣旨等 京都文化を支える文化芸術団体の分野横断的連携を促進するとともに、各分野の芸術活動を振興し、新たな京都文化の創造を図る。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 文化芸術団体連携強化事業 府内の文化芸術団体の活動支援により、芸術分野の枠を越えた連携強化と協働による取組の促進を図った。 文化芸術団体の活動への助成 15団体</p> <p>(2) 京都野外彫刻展 野外に相応しい彫刻作品を展示することにより、府民の彫刻に対する関心を高めるとともに、京都彫刻界の振興を図った。</p> <table border="0"> <tr> <td>場 所</td> <td>開 催 日</td> <td>入場者数</td> </tr> <tr> <td>府立植物園</td> <td>令和元年9月28日～10月14日</td> <td>28,221人</td> </tr> <tr> <td>府立陶板名画の庭</td> <td>〃</td> <td>1,788</td> </tr> </table> <p>(3) 京都現代写真作家展 京都で活動する写真作家の作品を公募し、優れた作品を展示公開することにより、写真芸術の振興を図った。</p> <table border="0"> <tr> <td>場 所</td> <td>開 催 日</td> <td>入場者数</td> </tr> <tr> <td>京都文化博物館</td> <td>令和元年12月11日～12月15日</td> <td>2,702人</td> </tr> </table> <p>(4) 舞台芸術振興・次世代体験 優れた舞台芸術を体験する機会の提供や、多様な舞台芸術公演の実施を通じて府民が舞台芸術に親しむ環境を創出し舞台芸術の活性化を図るため、府民ホールアルティ、府立文化芸術会館等での公演事業を実施した。</p> <p>公演事業数 14件</p> <p>3 執行額 18,583,420円 (うち委託料 9,942,180円 負担金 5,668,562円)</p>	場 所	開 催 日	入場者数	府立植物園	令和元年9月28日～10月14日	28,221人	府立陶板名画の庭	〃	1,788	場 所	開 催 日	入場者数	京都文化博物館	令和元年12月11日～12月15日	2,702人
場 所	開 催 日	入場者数																	
府立植物園	令和元年9月28日～10月14日	28,221人																	
府立陶板名画の庭	〃	1,788																	
場 所	開 催 日	入場者数																	
京都文化博物館	令和元年12月11日～12月15日	2,702人																	
			<p>地域文化活動振興事業 (文化芸術課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 アーティスト・イン・レジデンスの府内各地展開や、市町村を含む実行委員会等や地域の団体による文化事業に対する助成等、京都府内各地域における文化活動の振興と地域の活性化に資する取組を実施する。</p>															

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等												
	円	円	日本博府域展開アートプロジェクト事業 (文化芸術課)	<p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 京都：Re-Search芸術祭創生事業 地域アートマネージャーを配置し、市町村と協働して、地域の文化資源を発掘し、文化による地域の活性化を図るアーティスト・イン・レジデンス事業「京都：Re-Search」等を実施した。 ア 地域アートマネージャーの配置 配置箇所 山城広域振興局、南丹広域振興局、中丹広域振興局、丹後広域振興局 イ 京都：Re-Search等の実施</p> <p>(7) アーティスト・イン・レジデンスの実施 <短期アーティスト・イン・レジデンス> 和束町 令和元年8月26日～9月8日 <中期アーティスト・イン・レジデンス> 京丹後市 令和元年10月11～14日、18～20日、25～27日</p> <p>(4) フォーラムの開催</p> <table border="0" data-bbox="1176 659 1870 722"> <thead> <tr> <th>場 所</th> <th>開 催 日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京都文化博物館</td> <td>令和2年1月11日</td> <td>約85人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 新・文化芸術振興助成事業 市町村における地域文化資源を活用した文化芸術活動を発展させるとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けた新たな文化の創造の取組を推進するため、府内市町村やNPO等の地域団体等が取り組む文化活動に対し助成を行った。 文化芸術振興・発信事業 32件 文化力チャレンジ事業 27</p> <p>(3) 芸術村づくり事業 アトリエ付きシェアハウスの整備により、入居するアーティストの地域との交流、制作発表を支援するとともに、商店街の空き店舗等をどこでもギャラリーとして活用し、地域で活動する芸術家の作品等の展示を行った。 アトリエ付きシェアハウス 1箇所（亀岡市） どこでもギャラリー 2 （南丹市、京丹後市）</p> <p>3 執 行 額</p> <table border="0" data-bbox="1724 1141 2072 1236"> <tr> <td></td> <td>70,158,436円</td> </tr> <tr> <td>(うち 負担金</td> <td>14,300,000円)</td> </tr> <tr> <td>補助金</td> <td>26,003,000</td> </tr> </table> <p>1 施策の趣旨等 文化庁が推進する「日本博」事業として、地域の文化に触れる新たな機会を創出することにより、観光誘客の促進、地域経済の活性化を図るためのアートプロジェクトを実施する。</p>	場 所	開 催 日	参加者数	京都文化博物館	令和2年1月11日	約85人		70,158,436円	(うち 負担金	14,300,000円)	補助金	26,003,000
場 所	開 催 日	参加者数														
京都文化博物館	令和2年1月11日	約85人														
	70,158,436円															
(うち 負担金	14,300,000円)															
補助金	26,003,000															

			<p>国際アート市場形成事業 (文化芸術課)</p>	<p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 天橋立砂浜ライトアップ 天橋立の砂浜において光と音による演出を実施 場 所 開 催 日 参加者数 天橋立公園内 令和元年7月13日～9月30日 46,410人</p> <p>(2) メディアアート・フェスティバル 神社の参道等を活かしたデジタルアート作品の展示及びライブパフォーマンスを実施 場 所 開 催 日 参加者数 元伊勢籠神社 令和元年9月13日～11月4日 1,776人</p> <p>(3) スペシャル演出「JIKU #003 AMANOHASHIDATE」 成相寺紅葉ライトアップに合わせ、天橋立一帯で光や音による演出を実施 場 所 開 催 日 参加者数 成相山成相寺 令和元年11月9日、10日 2,306人</p> <p>3 執 行 額 29,381,561円 (うち 委託料 4,992,691円 負担金 23,020,000)</p> <p>1 施策の趣旨等 日本のアート、クラフト、映画などものづくりのメッカである京都の特徴を活かし、訪日外国人観光客等もターゲットに、国際的なアート&クラフト見本市を開催し、新たな市場開拓や世界市場に向けたPRを実施する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 「京都国際アートフェア(仮称)」開催準備 京都国際アートフェア(仮称)に係る実行委員会を立ち上げた。</p> <p>(2) 文化マーケット創出事業 文化を活かした新たな産業創出や産業界と連携した新たな文化マーケットの創出のため、作家自らが販売等を行う見本市「ARTISTS' FAIR KYOTO」連動企画や若手作家の選抜展覧会「Kyoto Art for Tomorrow 2020」等を実施した。</p> <p>ア ARTISTS' FAIR KYOTO連動企画「ARTISTS' FAIR KYOTO 2020 BLOW BALL」の開催 場 所 開 催 日 入場者数 ワコールスタディーホール京都他 令和2年2月7日～3月28日 3,043人</p> <p>イ Kyoto Art for Tomorrow 2020 -京都府新鋭選抜展-の開催 場 所 開 催 日 入場者数 京都文化博物館 令和2年1月25日～2月9日 29,994人</p> <p>ウ 京都アートルウンジの開催</p>
--	--	--	--------------------------------	---

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	<p>文化財活用支援事業 (文化政策室) (文化芸術課)</p> <p>京都文化力プロジェクト2016-2020開催事業 (文化芸術課)</p>	<p style="text-align: right;">場 所 スターバックス三条大橋店他</p> <p style="text-align: right;">開 催 日 令和元年6月28日～令和2年2月28日</p> <p style="text-align: right;">入 場 者 数 258人</p> <p>3 執 行 額 53,607,410円 (うち 委託料 14,713,060円) 負担金 37,320,000)</p> <p>1 施 策 の 趣 旨 等 文化財の価値や承継の大切さが広く地域の人々に伝わるよう、社寺等の文化財において地域の特色を生かした文化に親しむ取組を支援するなど、文化財に親しむ機会を増やすことで、保存に対する認識も高まるという、文化財の「保存」と「活用」の好循環を生み出す取組を実施する。</p> <p>2 施 策 の 実 施 状 況 (1) 文化財活用推進事業 社寺等の文化財を活用し、個性豊かな地域の文化資源の魅力を活かし、地域における文化に親しむ取組を行う団体を支援した。 助成件数 12件 (2) 文化財支援コーディネーター養成事業 歴史的建造物をはじめとした貴重な文化財を保存・継承していくため、文化財所有者とその活用主体、行政・関係団体間の調整や助言等を行う役割を担う「京都府文化財支援コーディネーター」を養成した。 受講者 24人</p> <p>3 執 行 額 12,481,000円 (うち 委託料 1,620,000円) 補助金 10,861,000)</p> <p>1 施 策 の 趣 旨 等 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、京都の文化を国内外に発信し、新しい文化創造を目指す「京都文化力プロジェクト2016-2020」事業を実施する。</p> <p>指標：京都文化を国内外に発信する文化イベントの開催数 目標：5回（平成27～令和元年度累計） 実績：7回（平成27～令和元年度累計）</p>

			<p>ICOM京都大会2019 開催事業 (文化政策室)</p>	<p>2 施策の実施状況 2020年に向けた京都文化力プロジェクト実行委員会の取組として、ICOM(国際博物館会議) 京都大会2019に合わせ、「くらしの文化」に着目した事業「京都・くらしの文化×知恵産業展」及び「京都・くらしの文化まつり」を実施し、京都の文化を国内外に発信した。</p> <p>(1) 「京都・くらしの文化×知恵産業展」</p> <table border="0"> <tr> <td>場 所</td> <td>開 催 日</td> <td>参加者数</td> </tr> <tr> <td>京都市勧業館みやこめッセ</td> <td>令和元年9月3日 ～9月5日</td> <td>4,300人</td> </tr> </table> <p>(2) 「京都・くらしの文化まつり」</p> <table border="0"> <tr> <td>場 所</td> <td>開 催 日</td> <td>参加者数</td> </tr> <tr> <td>京都経済センター</td> <td>令和元年10月19日 ～10月20日</td> <td>2,520人</td> </tr> </table> <p>3 執 行 額</p> <p style="text-align: right;">30,000,000円 (負担金)</p> <p>1 施策の趣旨等 日本初開催となるICOM京都大会の世界各地からの大会参加者に対して、京都の奥深い文化やまちの魅力に触れることのできるおもてなし行事を開催するとともに、府民向けの大会開催記念イベント等を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 北山エリアソーシャルイベント 大会参加者を対象とした東寺百合文書収蔵庫ツアー、観覧温室ナイトツアー、安藤忠雄建築ツアーを開催した。</p> <table border="0"> <tr> <td>場 所</td> <td>開 催 日</td> <td>参加者数</td> </tr> <tr> <td>府立京都学・歴史館、植物園、陶板名画の庭</td> <td>令和元年9月4日</td> <td>約1,100人</td> </tr> </table> <p>(2) エクスカーション 海の京都、森の京都、お茶の京都、竹の里・乙訓など、豊かな自然と風土・文化に育まれた地域の魅力に触れる周遊体験ツアーを9コースで開催した。</p> <table border="0"> <tr> <td>開 催 日</td> <td>参加者数</td> </tr> <tr> <td>令和元年9月6日</td> <td>323人</td> </tr> </table> <p>(3) みゅぜコット2019in京都 府内博物館の取組紹介、体験講座、ミュージアムグッズの販売を実施した。</p> <table border="0"> <tr> <td>場 所</td> <td>開 催 日</td> <td>参加者数</td> </tr> <tr> <td>府立京都学・歴史館</td> <td>令和元年9月4日～5日</td> <td>約500人</td> </tr> </table> <p>3 執 行 額</p> <p style="text-align: right;">33,000,000円 (負担金)</p>	場 所	開 催 日	参加者数	京都市勧業館みやこめッセ	令和元年9月3日 ～9月5日	4,300人	場 所	開 催 日	参加者数	京都経済センター	令和元年10月19日 ～10月20日	2,520人	場 所	開 催 日	参加者数	府立京都学・歴史館、植物園、陶板名画の庭	令和元年9月4日	約1,100人	開 催 日	参加者数	令和元年9月6日	323人	場 所	開 催 日	参加者数	府立京都学・歴史館	令和元年9月4日～5日	約500人
場 所	開 催 日	参加者数																														
京都市勧業館みやこめッセ	令和元年9月3日 ～9月5日	4,300人																														
場 所	開 催 日	参加者数																														
京都経済センター	令和元年10月19日 ～10月20日	2,520人																														
場 所	開 催 日	参加者数																														
府立京都学・歴史館、植物園、陶板名画の庭	令和元年9月4日	約1,100人																														
開 催 日	参加者数																															
令和元年9月6日	323人																															
場 所	開 催 日	参加者数																														
府立京都学・歴史館	令和元年9月4日～5日	約500人																														

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	文化芸術施設整備事業 (文化スポーツ施設課)	<p>1 施策の趣旨等 文化芸術振興の「拠点」としての機能及び発信力を強化するため、緊急度の高い施設や設備の充実・機能回復を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 京都文化博物館 外構工事等 (2) 府立府民ホール 自動火災報知設備の更新等 (3) 丹後文化会館 舞台吊物設備の更新等 (4) 中丹文化会館 舞台吊物設備の更新等 (5) 長岡京記念文化会館 消防設備の更新等</p> <p>3 執 行 額 130,188,741円 (うち 委託料 26,474,878円 工事請負費 92,271,859円)</p>
9 体育振興費 (P76)	8,886,172,000 (9,762,948,640) 翌年度への繰越 事業費繰越額 135,000,000 (京都スタジアム にぎわいづくり 推進事業費 13,000,000 京都スタジアム 周遊拠点化事業 費 122,000,000)	8,690,942,302 (9,437,890,563) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 220,246,042 寄 附 金 186,198,956 繰 入 金 587,580,568 繰 越 金 1,794,170 諸 収 入 3,000,000,000 府 債 4,567,000,000	ワールドマスターズ ゲームズ2021関西開催 準備事業 (スポーツ振興課) 東京2020オリンピック 聖火リレー準備事業 (スポーツ振興課)	<p>1 施策の趣旨等 ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催に向けた準備等を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) ワールドマスターズゲームズ2021関西開催負担金 (2) ワールドマスターズゲームズ2021関西2年前記念イベント (3) 海外広報活動 府内で開催される種目の競技人口が多い中国・台湾で開催された、各種目の国際大会等の参加者や競技団体役員等への広報活動を実施した。</p> <p>3 執 行 額 23,532,626円 (うち負担金 20,463,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 東京2020オリンピック聖火リレーの円滑な実施に向け、警備の準備等に着手する沿道市町への支援や、京都スタジアムにおいて実施するセレブレーションイベントの準備を行う。</p>

		<p>一般財源 128,122,566</p>	<p>京都スタジアム整備事業 (文化スポーツ施設課)</p> <p>スポーツ拠点施設充実事業 (文化スポーツ施設課) (都市計画課)</p>	<p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 沿道市町への支援 聖火リレーの実施に向けた市町による警備計画の策定等に係る準備経費について、6市1町に対して助成した。</p> <p>(2) セレブレーションイベントの準備 京都スタジアムで実施するセレブレーションイベントの実施計画の作成等を行った。</p> <p>3 執行額 11,878,300円 (うち 委託料 2,973,300円 補助金 8,905,000)</p> <p>1 施策の趣旨等 京都スタジアムの整備を実施する(令和元年12月完成)。</p> <p>2 施策の実施状況 主体(建築)・電気設備・機械設備・昇降機設備・大型映像設備等の各工事を実施 試合開催に必要な備品等を整備</p> <p>3 執行額 8,122,124,216円 (うち 工事請負費 7,750,507,134円 備品購入費 200,001,944)</p> <p>1 施策の趣旨等 丹波自然運動公園における車いす競技専用練習コース整備や山城総合運動公園におけるアイススケート場整備を進めるとともに、広域的スポーツ施設の整備を実施する市町村への支援を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 丹波自然運動公園 車いす競技専用練習コースを整備</p> <p>(2) 山城総合運動公園 アイススケート場の外構工事を実施</p> <p>(3) 市町村への支援 交付先 京都市 事業内容 西京極総合運動公園陸上競技場における諸室・トイレ改修 横大路運動公園における園路・駐車場等整備</p> <p>交付先 綾部市 事業内容 市民センターアリーナ部分における照明・空調等設備設置</p>
--	--	-----------------------------	--	--

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<p>交 付 先 京丹後市 事業内容 峰山途中ヶ丘公園陸上競技場第3種公認化整備に係る工事 交 付 先 京丹波町 事業内容 グリーンランドみずほホッケーグラウンド夜間照明設備設置に係る工事 交 付 先 和東町 事業内容 湯船森林公園マウンテンバイクコース整備に係る工事</p> <p>3 執 行 額 193,450,840円 （うち 工事請負費 154,690,840円） 補助金 29,190,000</p> <p>1 施策の趣旨等 京都スタジアムのにぎわいを創出する取組を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 京都スタジアムの完成に合わせたイベントの開催 ア 京都スタジアム竣工式 開 催 日 令和2年1月11日 来場者数 330人 イ 京都スタジアムこけら落とし 開 催 日 令和2年2月9日 来場者数 17,938人 (2) 足湯施設の整備 京都スタジアムの新たな立ち寄りスポットとして足湯施設の整備に着手した。 (3) 周遊バス運行事業 京都スタジアムから主要観光資源への周遊を促すバスの試験運行を実施した。 (4) アスリート弁当の開発 民間企業と共働し、地域産食材を使ったアスリート向け弁当の開発、販売促進を実施した。</p> <p>3 執 行 額 32,223,603円 （うち 工事請負費 15,305,000円） 負担金 4,000,000</p>
			京都スタジアムにぎわ いづくり推進事業 (文化スポーツ施設課)	

			<p>京都スタジアム周遊拠点化事業 (文化スポーツ施設課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 VR・eスポーツを体験できる環境整備及び桂川舟運等の歴史・体験展示施設等の整備を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況 京都スタジアム内にVR・eスポーツを体験できる環境を整備する工事に着手 桂川舟運歴史体験・展示施設等を整備</p> <p>3 執行額 307,732,717円 (うち委託料 47,109,120円 工事請負費 260,623,597)</p>
<p>10 広域振興局費 (P76)</p>	<p>125,669,000 (489,121,736)</p>	<p>118,384,660 (441,895,640) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 18,582,952 繰入金 10,000,000 一般財源 89,801,708</p>	<p>地域振興推進事業 (企画参事)</p>	<p>1 施策の趣旨等 広域振興局ごとに策定した「地域振興計画」に基づき、総合的・戦略的な視点による地域づくりを進める。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 山城広域振興局 ア 「お茶の京都」や「かぐや姫観光」による賑わいづくり事業 12市町村で「お茶の京都」を展開する中、宇治茶の価値・魅力を発信し、宇治茶ファンの拡大と宇治茶の消費拡大の取組やかぐや姫観光を企画、推進した。 (ア) 宇治茶文化の継承・発展を目指し、歴史や美味しさ等の魅力を発信 ・宇治茶ムリエ講座 参加者 約770人 うちキッズ茶ムリエ検定 参加者 約240 ・キッズ・ジュニア茶ムリエマスター活動 参加者 延べ117 (イ) かぐや姫観光の推進、賑わい創出・発信 ・「京都・乙訓地域観光振興のためのプラットフォーム」による「ツーリズムEXPO ジャパン2019大阪・関西」での情報発信 ・「竹の里・乙訓」と「もうひとつの京都」を結ぶ大物産展の開催 参加者 約110,000人 イ 木津川右岸地域の活性化事業 相楽東部地域の活性化のため、「相楽東部未来づくりセンター」を核に、府と相楽東部3町村や地域団体等が連携し、交流人口拡大に向けたスポーツ観光や子育て支援を推進した。 (ア) 府・3町村等の連携によるスポーツ観光の推進 ・「京都きづ川アクティビティフェスタ」の開催 参加者 約300人 (イ) 相楽東部の子育てを広域的に支援する基盤づくり ・多世代間交流、子育て世代の交流、相楽東部、西部の交流会等 4回 参加者 245人</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援事業の視察 1回 参加者 22人 ウ やましろ地域文化振興及び科学好き・ものづくり好きの子ども育成事業 研究施設、企業、大学、NPO等による山城の地域資源を生かした最先端の科学・ものづくりの体験や文化活動団体との交流により、次代の担い手のふるさと意識を醸成した。 (7) 「やましろ未来っ子はくらん会」の開催 参加者 840人 (イ) やましろ未来っ子サイエンスラリーの実施 ・参加者 小・中学生 約2,700人 ラリーポイント 29箇所 エ 人づくりに始まる災害に強いやましろづくり事業 管内市町村の自治会・町内会等が進める「水害等避難行動タイムライン」の作成を支援するとともに、消防団や自主防災組織等に対する「災害時声掛け人材養成研修」等を開催した。 (7) 「水害等避難行動タイムライン」の作成支援 八幡市、久御山町、宇治市、木津川市 (イ) 「災害時声掛け人材養成研修」の実施 2回（和東町社会福祉センター1回、宇治市産業会館1回） (ウ) 地域防災力向上講座の実施 3回（山城広域振興局宇治総合庁舎2回、京田辺市役所1回） (エ) 水害から身を守る情報啓発を、多雨期を中心に集中実施 ・パネル展の実施 14箇所 ・各市町村で防災情報の入手方法を記したチラシを住民に配布 17箇所 (オ) 災害拠点病院、市町村等と連携した災害対応訓練、研修会の実施 9回 参加者 約400人 (カ) 福祉避難所の設置・運営訓練等の実施 3回 参加者 約150人 オ 誰もが安心して出産・子育てできる体制づくり事業 管内市町村、医療機関、教育機関等と連携し、地域特性に応じた取組を実施した。 (7) 子育て世帯への小児医療等の情報提供 ・フォーラム、講座 3回 参加者 162人 (イ) 若年層を対象に将来の結婚、出産、男性の家事育児参画等の啓発を実施 ・研修会 3回 参加者 140人 ・保健委員活動として啓発資料・グッズの配布 3高校 (2) 南丹広域振興局 ア 京都丹波ブランド強化総合事業 府中北部へのゲートウェイとなる京都スタジアムのオープンを見据え、地域全体への誘客を進めるため、体験型イベントを開催するなど地域の魅力を発信した。

				<p>(7) 親子サッカー教室などのスポーツや京都丹波の食を体験できる「森の京都・京都丹波EXPO」、観光スポット等を巡る「京都丹波まるごと体感ツアー」を実施 ・「森の京都・京都丹波EXPO」来場者 約10,000人</p> <p>(4) 京都丹波のモデルコースを紹介するプロモーション動画を作成し、発信 ・プロモーション動画設置箇所数 17箇所</p> <p>(ウ) 地元産木材を使った食器・小物等の飲食店向け試作品を作製・展示</p> <p>(エ) CATV番組や「京都丹波・写ガール隊」による地域の魅力発信</p> <p>(オ) 森の京都DMO等と連携し、教育体験旅行の受入を増やすなど、交流人口の拡大を推進 ・宿泊を受入れる家庭数 312戸 ・教育体験旅行受入人数（宿泊を伴うもの） 26校 1,558人</p> <p>(カ) 「京都丹波イチ推しの食」等地域の食の魅力をガイドブックにまとめて発信 ・「京都丹波の食・味めぐりガイドブック」発行 15,000部</p> <p>イ 京都丹波移住促進強化事業 大都市に近く暮らしやすいという京都丹波の強みを生かし、オール京都丹波で移住・定住の取組を進めた。</p> <p>(7) セミナー、相談会等を開催し、「森の京都・京都丹波ライフスタイル」を発信するとともに、地元出身者等に地元企業の採用情報等を提供 ・新規移住者 152人</p> <p>(4) 京都丹波が子育てしやすい地域と実感できる環境づくりを推進するため、「京都丹波子育て文化推進協議会」を設置するとともに、子育て支援の取組を推進 ・子育て支援リーダー養成塾 3回 参加者 102人 ・ピアサポーター研修 2 参加者 22 ・療育教室、保育所等の従事者に対する発達障害児及び保護者への対応力向上に向けた研修 9回 参加者 63人</p> <p>ウ 健康長寿推進プロジェクト事業 健康長寿の地域づくりを進めるとともに、障害者等の社会参加を推進した。</p> <p>(7) 介護予防や運動習慣の定着に向け、「なんたん元気づくり体操」の普及やウォーキングイベントを実施 ・なんたん元気づくり体操リーダーの育成 42人 ・ウォーキングイベント参加者 延べ1,395</p> <p>(4) 障害者の経済的自立を支援するため、オリジナルブランド「ぬくもり京都丹波」商品の販売促進を強化 ・ショッピングモールでの販売会の開催 売上げ 1,092千円</p> <p>エ 次代の京都丹波産業活性化支援事業 農畜産業の人づくりや生産性の向上、中小企業の支援強化、商店街の誘客促進等を実施した。</p> <p>(7) 農畜産業の若手経営者を対象としたセミナーや経営研修等の開催 ・チャレンジセミナーの開催 10回 参加者 延べ28人 ・京都丹波和牛塾の開催 3 参加者 延べ32</p>
--	--	--	--	--

科 目	予算現額	決算額	主要な施策	施策の実施状況と成果等
	円	円		<p>(イ) 管内企業の商品開発や販路開拓等をトータルに支援するため、「京都丹波中小企業支援Aチーム」による伴走支援を行うとともに、中小企業の連携を強化するため、情報交換会を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「京都丹波中小企業支援Aチーム」による企業訪問 延べ385社 ・京都丹波企業情報交換会の開催 1回 参加企業 58社 参加者 100人 <p>(ウ) 消費者の省エネ行動と連動した取組として、商店街等への誘客を図る「おでかけCOOLプロジェクト」を実施</p> <p>オ 安心・安全のまち推進事業</p> <p>災害に強いまちづくりを進めるため地域防災リーダーの育成等を推進した。</p> <p>(7) 地域防災リーダー育成ワークショップ・研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 1回 参加者 40人 <p>(イ) 水害等避難行動タイムラインの作成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ（亀岡市）にファシリテーターを派遣 3回 参加者 延べ240人 <p>(ウ) 防災イベントの実施 1回（亀岡市）</p> <p>(3) 中丹広域振興局</p> <p>ア 安心・安全な地域づくり事業</p> <p>地域全体の防災力を高めるため、道路冠水等の災害情報提供者や自治会等における地域防災リーダーを育成するとともに、治山・治水対策の検証をモデル地区で行い、関係者間で情報を共有した。</p> <p>(7) 中丹地域防災力アップ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災教育やLINEを活用した情報共有を図る「中丹自然災害情報連絡ネットワーク講習会」を開催 3回 災害情報提供者の登録者 125人 ・地域防災リーダー（災害時声掛け隊）の育成 74人 <p>(イ) 安心・親しみの由良川づくり事業</p> <p>地域ぐるみによる防災・減災対策の取組支援を図るため、弘法川・法川流域をモデル地区として農地、森林を含めた流域の貯留効果等を高めるための調査を実施</p> <p>イ 魅力あふれる地域づくり事業</p> <p>交流の拡大及び地域資源の魅力向上を図るため、DMO等と連携し、京都舞鶴港のクルーズ客及び船員の周遊促進・消費拡大に向けた情報発信や滞在プログラムの提供、食などの特産品の新商品開発及び販売支援、「京都縦貫トレイル」コースを一体的に魅せるプロモーションを実施した。</p> <p>(7) クルーズ客まちなか回遊促進事業</p> <p>地元商店と連携し、ふ頭周辺の観光スポット及び飲食店の情報発信や観光名所をめぐるラリーゲーム等を行う情報・体験拠点の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者 367人 連携店 延べ159店 ・「海の京都駅（仮称）」で地域の特産品の販売やレンタサイクルサービスを提供する「海の京都観光マーケット」の開催 14回 レンタサイクル利用者 242人

				<p>(イ) 女性の心を射貫く！中丹の魅力商品発見・発信事業 ・「中丹いち推し商品」の選定 21点</p> <p>(ウ) 京都中丹認証ジビエ倍増戦略事業 ・「第3回森の京都ジビエフェア」の実施 中丹地域の参加店舗 23店 ・「ゆらパーおいしさ一杯沿線特産市」等中丹地域などで開催されたイベントへの出店 延べ16店 ・中丹地域の独自基準「京都府中丹地域における野生鳥獣肉生産工程管理制度」を活用し、ジビエの振興に取り組む食肉加工処理施設の新規認証 1施設</p> <p>(エ) 中丹スポーツ・トレイル推進事業 ・「トレッキングマスター」等による「京都縦貫トレイル」コースの記事投稿 515件 ・「カヌー体験教室」の実施 参加者 69人</p> <p>ウ 移住・定住促進事業 中丹地域への移住・定住を促進するため、中丹地域での働き方や暮らし方を移住希望者に広く発信するとともに、安心して子育てしやすい地域づくりに向けて、子育て中の方をはじめ、子育て支援者、企業、行政機関が参画する子育て支援のプラットフォーム「中丹子育て未来づくり100人会議」を立ち上げた。</p> <p>(イ) 「育・食・住」ライフスタイル発信事業 中丹地域で「働く・暮らす」をテーマとしたインタビュー記事の発信 ・SNS登録者 4,880人</p> <p>(ウ) 「京都府北部いなか暮らし」魅力発信事業 ・大阪市での移住・定住セミナーや現地体験ツアーの開催 5回 参加者延べ59人</p> <p>(エ) 中丹地域まるごと子育て支援事業 ・「中丹子育て未来づくり100人会議」のキックオフイベントとして「子育てしやすいまちづくりシンポジウム」を開催 参加者 220人 賛同者97団体・個人 ・高校生等を対象に赤ちゃんとのふれあい体験等を実施 2校</p> <p>エ 地域産業の振興・雇用の促進事業 中丹地域の中小企業の人材確保と若者の将来の地元就職を図るため、教職員と企業との交流を促進するとともに、「儲かる農林水産業」を推進するため、中丹地域の主要農産物の若手生産者や新規生産者向けの講座、講習会を実施した。</p> <p>(イ) 中小企業 若者地元就職促進事業 ・企業の人材確保に関する研究交流会の開催 参加企業 39社 参加校 14校 ・教職員対象の企業見学交流会の開催 参加企業 9 参加校 13</p> <p>(ウ) 未来を拓く茶どころ中丹発展支援事業 ・茶の手摘み等を支援する中丹茶サポーターの新規登録者 20人 ・中丹茶提供店の登録 3店、お茶請けスイーツの開発 1点</p> <p>(エ) 万願寺甘とう生産者拡大支援事業 ・万願寺甘とうの担い手育成を目的とした「万とうゼミ」の開催 参加者38人</p> <p>(イ) 「丹波くり」生産拡大くり園実践事業 ・新たに設定した「丹波くり実習モデル園」での講習会の開催 4回 参加者延べ80人</p>
--	--	--	--	---

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<p>(4) 丹後広域振興局</p> <p>ア 丹後の食の魅力づくりによる誘客促進・販促展開事業 四季を通じての産地発信、地産地消の仕組みづくりを進めるとともに、丹後産加工品等の販促活動を展開することで、丹後への誘客を促進した。</p> <p>(7) 丹後ビストロマルシェ2019の開催（丹後王国「食のみやこ」）来場者5,610人</p> <p>(イ) 丹後産品の魅力向上・発信 ・丹後うまいもんフェア等の開催 4回 ・フルーツde丹後チームによる丹後フルーツを用いた新商品開発 1商品</p> <p>(ウ) 四季毎に選定した旬の食材を使った昼食の提供店舗を認定し、統一的に発信 ・選定食材 41種類 旬の食材提供認定店舗 51店舗（延べ93店舗）</p> <p>イ 広域周遊観光を目指した観光交通充実事業 丹後地域の豊富な観光資源やジオパークなどの自然環境を生かし、鉄道事業者との連携や自転車の活用による周遊観光につながる事業を実施した。</p> <p>(7) JR西日本、京都丹後鉄道、兵庫県と連携した「近畿のキタだよ、北近畿キャンペーン」の実施 ・キャンペーン専用サイトにおけるモデルコース掲載 季節ごとに2コース ・京阪神の主要ホテル等コンシェルジュへのPR 訪問先 ホテル41箇所</p> <p>(イ) 天橋立ー城崎温泉直通「城崎・天橋立ダイレクト」の運行に合わせた誘客PRの実施 運行日数23日間【7～9月の土日及び祝日（お盆期間8/10～18除く）1日1往復】 アテンダントによる沿線観光案内、地酒試飲</p> <p>(ウ) 山陰海岸ジオパーク認定ガイドと連携したトレイルコースの開発等 21コース</p> <p>(エ) 丹後サイクル・リビングラボ展開事業の実施 ・eバイク試行ライドイベントの実施 8プログラム 160人参加</p> <p>ウ 丹後の森の新たな魅力を発掘・発信する事業 地域住民やNPO等多様な主体との協働により森林の保全活動等を実施 ・上宮津・杉山の天然杉林での自然観察会等開催 6回 延べ120人</p> <p>エ 地域と学生で支える自然共生地域・人づくり事業 地域や学生ボランティア等と連携した阿蘇海の環境改善に向けた啓発及びカキ殻回収等を実施した。</p> <p>(7) 阿蘇海流域環境改善に係る学生ボランティアと協働した啓発活動の実施 7事業</p> <p>(イ) 学生ボランティア等と協働したカキ殻回収活動の実施 ・参加者 延べ250人 カキ殻回収量 17.6t</p> <p>オ 「丹後ちりめん創業300年」を契機とした地場産業振興事業 2020年に迎える「丹後ちりめん創業300年」を見据え、丹後ちりめん創業300年事業実行委員会により、地域一体となった「丹後ちりめん」産業の振興を推進した。</p> <p>(7) 丹後ちりめん創業300年イベント「ナイトクルーズ&ディナー」の実施 参加者 59人</p>

				<p>(イ) ロゴマーク「TANGO OPEN」利用企業の認定 利用 21社</p> <p>(ウ) パリコレ等における「丹後ちりめん」を活用したドレスのPR 参加企業 7社</p> <p>(エ) 首都圏における産地単独総合展（丹後織物総合展）の開催 参加企業 13社 来場者 251人</p> <p>(オ) 首都圏、京阪神の学生や若手クリエイターとのコラボ商品開発 商品数 23商品</p> <p>(カ) 「IMAGINE ONEWORLD KIMONO PROJECT」への参画 アルゼンチン共和国をテーマに制作した着物等を活用したイベント開催 11回</p> <p>カ 地域の実情に応じた防災・減災対策の推進事業 各市町等と連携し、丹後地域特有の実情を踏まえた防災訓練等を実施した。 ・地域防災リーダー等研修会の開催 参加者 300人</p> <p>キ 丹後地域の産業を支える人材確保・移住促進事業 移住を促進し、地域産業を支える人材を確保するため、移住希望者のニーズにきめ細やかに対応するとともに、人材確保に熱意を持って取り組む企業を応援し、長期的な産業振興に繋げた。</p> <p>(ア) 企業向け採用活動セミナーの開催 4回 参加者延べ62人</p> <p>(イ) ものづくり企業のPRのための大学訪問や学内企業説明会の開催 ・訪問先 2校 ・学内企業説明会 2校 参加企業数 5社 参加学生数 29人 ・高校生向け「令和元年度進路を考えるための地元の産業・企業セミナー」 ・参加者 高校生 46名 保護者・教諭等関係者 16人 計62人</p> <p>(ウ) 移住セミナーの開催（大阪市内及び京都市内）3回 参加者82人</p> <p>3 執 行 額 118,384,660円</p>
<p>11 京都学・歴 彩館費 (P78)</p>	<p>178,534,000 (868,336,000)</p>	<p>176,623,644 (862,845,251)</p> <p>決算額の財源 内訳 国庫支出金 4,559,371 繰越金 4,000,000 府 債 159,000,000 一般財源 9,064,273</p>	<p>北山文化環境ゾーン広 場・プロムナード整備 事業 (文化スポーツ施設課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 京都学・歴彩館と周辺施設との連携・交流のため、広場及びプロムナードを整備する。</p> <p>2 施策の実施状況 広場・プロムナードを整備</p> <p>3 執 行 額 167,504,900円 (うち 委託料 564,300円 工事請負費 166,940,600)</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	国際京都学活動推進事業 (文化スポーツ施設課)	<p>1 施策の趣旨等 京都学・歴彩館を拠点として、京都の歴史、文化に関するフォーラム等の実施及び国内外の大学や研究機関との研究ネットワークを構築し、研究成果を国内外へ発信する。</p> <p>2 施策の実施状況 京都の文化資源などをテーマにセミナー等を開催したほか、地域の文化資源について、大学・研究機関と共同で研究を行った。</p> <p>(1) 大学等との共同研究会の実施 ア 平成31年度研究テーマ「洛東の文化資源」 参加大学等 府立大学ほか6大学等 イ 平成30年度研究テーマ「洛西の文化資源」 報告書及び一般書籍の発行 ウ 平成29年度研究テーマ「南山城の文化資源」 「京都を学ぶセミナー」実施 (計8回 延べ1,028人)</p> <p>(2) 海外若手研究員招聘事業の実施 京都学・歴彩館と覚書を締結した日本文化研究機関から推薦を受けた海外若手研究者の中から選考の上、研究員として招聘(2箇国、2人)</p> <p>(3) 海外若手研究員による府民向けセミナーの実施 海外から招聘した日本研究・京都研究の優秀な若手研究員による府民向けセミナーを開催(令和2年2月21日開催、参加者63人)</p> <p>3 執 行 額 9,118,744円</p>
12 植物園費 (P78)	7,650,000 (513,631,000)	7,650,000 (513,226,066) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 3,825,000 繰入金 3,825,000	四季の彩り事業 (文化スポーツ施設課)	<p>1 施策の趣旨等 植物園の持つ四季折々の魅力を更に向上させ、より多くの府民に親しんでいただく憩いの場を提供する。</p> <p>指標：植物園入園者数 共通目標：90万人 実績：85万2,955人</p> <p>2 施策の実施状況 次の施策を実施することにより、四季を通じた植物園の魅力の向上を図り、年間入園者数は85万2,955人となった。</p> <p>(1) 春 「桜」のライトアップ 開催期間 平成31年3月25日～4月7日 入園者数 約40,000人(夜間の入園者数 約16,300人)</p>

16 諸 費 (P80)				<p>(2) 夏 早朝開園・夕涼み開園 開催期間 令和元年7月5日～7月7日(早朝) 令和元年7月26日～8月18日(早朝) 令和元年8月17日～8月25日(夕涼み)</p> <p>入園者数 約3,300人</p> <p>(3) 秋 名月観賞の夕べ 開催期間 令和元年9月13日 入園者数 約6,000人 秋の植物園フェスタ(植物クラフト体験、植物園マルシェ等) 開催期間 令和元年11月16日、17日 入園者数 約14,300人 「紅葉」のライトアップ 開催期間 令和元年11月15日～12月1日 入園者数 約19,000人(夜間の入園者数 約6,100人)</p> <p>(4) 早春 早春の草花展 開催期間 令和2年2月14日～3月15日 入園者数 約28,900人</p> <p>3 執 行 額</p> <p style="text-align: right;">7,650,000円 (うち委託料 2,991,600円 工事請負費 3,948,621)</p>														
	108,059,000 (1,359,786,000)	106,252,206 (1,314,293,766)	こころのふるさと京都 の文化財保護事業 (文化政策室)	<p>1 施策の趣旨等 学術上又は文化的価値の高い貴重な文化財の保全を図るため、「文化財を守り伝える京都府基金」への寄附金等を活用しながら、未指定文化財を含む文化財の保存、修理、防災対策等を総合的に推進する。</p> <p>指標：「文化財を守り伝える京都府基金」への寄附金額 目標：50,000,000円 実績：18,265,851円</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 文化財を守り伝える京都府基金等事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">事業内容</th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歴史的建造物など文化財(有形)の保存・修理事業</td> <td style="text-align: center;">9件</td> <td style="text-align: right;">7,108,000円</td> </tr> <tr> <td>地震・火災等から文化財(有形)を守る事業</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: right;">2,424,000</td> </tr> <tr> <td>文化財保護のこころを育む事業</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: right;">3,043,000</td> </tr> <tr> <td>文化レジリエンス事業</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: right;">437,000</td> </tr> </tbody> </table>	事業内容	件数	補助金	歴史的建造物など文化財(有形)の保存・修理事業	9件	7,108,000円	地震・火災等から文化財(有形)を守る事業	4	2,424,000	文化財保護のこころを育む事業	3	3,043,000	文化レジリエンス事業	2
事業内容	件数	補助金																
歴史的建造物など文化財(有形)の保存・修理事業	9件	7,108,000円																
地震・火災等から文化財(有形)を守る事業	4	2,424,000																
文化財保護のこころを育む事業	3	3,043,000																
文化レジリエンス事業	2	437,000																
	108,059,000 (1,359,786,000)	106,252,206 (1,314,293,766)	こころのふるさと京都 の文化財保護事業 (文化政策室)	<p>決算額の財源 内訳 寄 附 金 437,000 繰 入 金 27,575,000 繰 越 金 12,425,000 府 債 58,000,000 一 般 財 源 7,815,206</p>														

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等																		
	円	円		<p>(2) 未指定文化財の保全</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">事 業 内 容</td> <td style="text-align: center;">件 数</td> <td style="text-align: center;">補 助 金</td> </tr> <tr> <td>防災防犯設備の整備又は保存施設の修理</td> <td style="text-align: center;">13件</td> <td style="text-align: right;">6,321,000円</td> </tr> <tr> <td>建造物の補修</td> <td style="text-align: center;">29</td> <td style="text-align: right;">28,970,000</td> </tr> <tr> <td>美術工芸品の補修</td> <td style="text-align: center;">33</td> <td style="text-align: right;">20,912,000</td> </tr> <tr> <td>有形民俗文化資料の保全等</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: right;">3,550,000</td> </tr> <tr> <td>無形民俗文化資料の保全等</td> <td style="text-align: center;">32</td> <td style="text-align: right;">5,141,000</td> </tr> </table> <p>(3) 選定委員会の開催等 文化財を守り伝える京都府基金事業の選定委員会を開催するとともに、PRリーフレットを作成し、寄附の呼びかけに関する広報活動を行った。 寄附金額 184件 18,265,851円</p> <p>3 執 行 額 78,827,206円 (うち補助金 77,906,000円)</p>	事 業 内 容	件 数	補 助 金	防災防犯設備の整備又は保存施設の修理	13件	6,321,000円	建造物の補修	29	28,970,000	美術工芸品の補修	33	20,912,000	有形民俗文化資料の保全等	11	3,550,000	無形民俗文化資料の保全等	32	5,141,000
事 業 内 容	件 数	補 助 金																				
防災防犯設備の整備又は保存施設の修理	13件	6,321,000円																				
建造物の補修	29	28,970,000																				
美術工芸品の補修	33	20,912,000																				
有形民俗文化資料の保全等	11	3,550,000																				
無形民俗文化資料の保全等	32	5,141,000																				
			<p>祇園祭山鉾懸装品新調事業 (文化政策室)</p>	<p>1 施策の趣旨等 祇園祭山鉾懸装品のうち、損傷が著しく、保存を要するものについて、これらの代替品として現代の意匠・染織技術の粋を集めた文化的価値の高い懸装品の新調を行う保存団体等を支援する。</p> <p>2 施策の実施状況 公益財団法人鶏鉾保存会ほか3団体に対し支援を行い、祇園祭山鉾懸装品の保全を図った。</p> <p>3 執 行 額 15,000,000円 (補助金)</p>																		
			<p>文化財災害復旧事業 (文化政策室)</p>	<p>1 施策の趣旨等 平成30年7月豪雨及び台風21号により被害を受けた文化財等の災害復旧に対して支援する。</p> <p>2 施策の実施状況 未指定文化財で、平成30年7月豪雨及び台風21号により被害を受けた建造物等の修復事業に対し補助した。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">事 業 内 容</td> <td style="text-align: center;">件 数</td> <td style="text-align: center;">補 助 金</td> </tr> <tr> <td>建造物の修復</td> <td style="text-align: center;">16件</td> <td style="text-align: right;">11,851,000円</td> </tr> </table>	事 業 内 容	件 数	補 助 金	建造物の修復	16件	11,851,000円												
事 業 内 容	件 数	補 助 金																				
建造物の修復	16件	11,851,000円																				

				防災防犯設備の整備等	3	574,000
				3 執行額		12,425,000円 (補助金)
2 企画費						
1 企画総務費 (P82)	152,646,000 (1,309,592,000)	152,646,000 (1,292,308,035) 決算額の財源 内訳 一般財源 152,646,000	関西広域連合分担金 (総合政策課)	1 施策の趣旨等 関西広域連合は、平成22年12月1日に関西の2府5県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県）が結集し、複数府県で構成される全国初の広域連合として設立され、平成24年から4政令市（京都市、大阪市、堺市、神戸市）、平成27年12月から奈良県も加わった。 その運営に要する経費に対して分担金を支出することにより、広域的な課題に取り組み、住民の安心・安全を守り、関西を活性化する広域行政の推進を図る。		
				2 施策の実施状況 (1) 広域連合議会等の開催 広域連合議会の開催 4回 広域連合議会総務常任委員会の開催 2 広域連合議会防災医療常任委員会の開催 2 広域連合議会産業環境常任委員会の開催 3 広域連合委員会の開催 12 広域連合協議会の開催 2 新型コロナウイルス感染症対策本部会議の開催 2 (2) 広域連合の事業分野 防災、観光・文化・スポーツ振興、産業振興、医療、環境保全、資格試験・免許等、職員研修の7分野の各事業及び広域行政の推進に係る基本的な政策の企画調整を実施		
				3 執行額		152,646,000円 (負担金)
2 計画調査費 (P82)	138,467,010 (2,066,212,000) 翌年度への繰越 事業費繰越額 45,180,000 (ウトロ地区住環 境改善事業費)	90,877,004 (1,998,207,109) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 9,560,155 繰越金 2,696,000	ウトロ地区住環境改善 事業 (総務調整課)	1 施策の趣旨等 宇治市ウトロ地区について、国・府・宇治市の三者連携により、平成27年3月に策定され、令和元年12月に変更されたウトロ地区小規模改良事業計画に基づき住環境の改善を図る。 目標：宇治市ウトロ地区の住環境改善 実績：地区内幹線道路に係る用地取得及び排水路整備		

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円 府 債 24,000,000 一 般 財 源 54,620,849	府庁生産性向上推進事業 (職員総務課 企画総務課 情報政策課 企画統計課)	<p>2 施策の実施状況 国・府・宇治市の三者で構成される「ウトロ地区住環境改善検討協議会」における連携のもと、宇治市が行う地区内幹線道路等の整備に係る用地取得及び既存住宅の除却等に対して助成した。</p> <p>3 執 行 額 27,033,000円 (補助金)</p> <p>1 施策の趣旨等 業務プロセスの改善や最新のICTの活用により府庁運営の効率化と府民サービスの向上を図り、府庁における生産性向上を推進する。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 業務プロセス改善 平成30年度に実施した主管課業務の標準化モデルについて、全庁展開を実施した。また、新たに効率化及び省力化が図れる業務について、支援を実施した。 ア 官公需契約実績調書のエクセルテンプレートの全庁展開 イ エクセルテンプレート利活用を解説した動画コンテンツの作成 ウ 補助金業務の効率化実施 21.8時間分の時間削減効果 エ 議事録作成ソフトによる議事録作成の実証実験の実施 (2) データに基づく業務改善・施策立案 ア データサイエンティスト養成研修・政策立案 データを読み解き、有用な知見を引き出すことで、より正確で質の高い府民サービスを創造する「京都府データサイエンティスト」を新たに11人養成した。またデータサイエンティストが所属を越えて集い、政策課題に取り組む「京都府データサイエンスラボ」を運営した。 イ 京都データストアの運営 インターネット上で京都府に関するオープンデータ等府全体の情報を誰でもワンストップで見ることができ、容易にデータ分析をすることのできるサイト「京都データストア」の運営を行った。 ・京都データストアのデータセット数 733種類 12,009件 (3) 職員のスマホ等を活用する「BYOD」及びクラウドサービスの活用 クラウドサービス「Microsoft Office365」を500アカウント調達し、出張の多い職員が職員のスマートフォンで業務メールを確認する等現場で即時、即座の対応ができる環境を整備するとともに、クラウドサービスに情報を保存し、府民、企業等の多様な主体との情報共有に活用した。</p>

			<p>3 執行額 16,562,530円</p> <p>1 施策の趣旨等 今後の府政運営の指針となる新しい総合計画を策定する。</p> <p>2 施策の実施状況 新総合計画の策定に関する有識者会議を開催し、令和元年10月に「将来構想」「基本計画」「地域振興計画」によって構成する「京都府総合計画」を策定した。 また、「明日の京都」の最終年度（平成30年度）に係る実施状況について、第三者委員会や府民意識調査の実施により点検し、総括となるベンチマークレポートを作成するとともに、政策課題等について検討を行った。 新総合計画策定懇話会 3回 京都府「明日の京都」第三者委員会の開催 1回 府民意識調査の実施（郵送アンケート形式）対象 4,900人 アクションプランによる施策の推進 10プラン</p> <p>3 執行額 23,799,474円</p> <p>1 施策の趣旨等 文化庁の京都への全面的な移転を円滑に進めるため、府・市・京都商工会議所等の連携による取組等を推進する。</p> <p>2 施策の実施状況 文化庁京都移転準備実行委員会において、シンポジウムの開催や文化庁と府内市町村等との意見交換などの機運醸成活動を行った。</p> <p>3 執行額 4,222,000円 (うち負担金 4,000,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 京都の活性化を推進するため、京都に学ぶ学生たちが力を合わせ、行政、経済界、地域と幅広く連携しながら、京都の学生文化や学生の熱気あふれる大学のまちを全国に発信する「京都学生祭典」の開催を支援するため、第17回京都学生祭典実行委員会に対して助成する。</p> <p>指 標 目 標 実 績 京都学生祭典参加学生数 2,000人（令和元年度） 1,398人</p>
		<p>新総合計画等策定事業 (総合政策課)</p> <p>文化庁京都移転促進事業 (文化政策室)</p> <p>京都学生祭典開催助成事業 (大学政策課)</p>	

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等																																														
	円	円		<p>2 施策の実施状況</p> <p>産学公連携のもと、京都の学生たちが中心となり第17回京都学生祭典が開催され、10月の本祭や3回に渡るプレイベントの実施など約12万人の来場者を集めるとともに、京都サンガF.C.の試合での「京炎そでふれ！」の披露等、京都のまちに賑わいを創り、活性化に寄与した。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">開催日</td> <td style="text-align: center;">会 場</td> <td style="text-align: right;">来場者数</td> </tr> <tr> <td>本祭</td> <td>令和元年10月13日</td> <td>平安神宮・岡崎周辺</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">約112,000人</td> </tr> </table> <p>プレイベント</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>#ファインダー越しの私の宮津</td> <td>令和元年6月22日、23日</td> <td>京都府青少年海洋センター</td> <td style="text-align: right;">約50</td> </tr> <tr> <td>タナバタフェス</td> <td>令和元年7月6日</td> <td>東山区古川町商店街周辺</td> <td style="text-align: right;">約1,900</td> </tr> <tr> <td>みんなわくわくファミリーフェスタ</td> <td>令和元年9月8日</td> <td>イオンモールKYOTO・京都五条</td> <td style="text-align: right;">約8,000</td> </tr> </table> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td>企画参加者数</td> <td>大学</td> <td>短期大学</td> <td>専修学校</td> <td>学生数</td> </tr> <tr> <td>実行委員数</td> <td>27</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>248人</td> </tr> <tr> <td>「京炎そでふれ！」おどり手</td> <td>24</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>961</td> </tr> <tr> <td>短期ボランティアスタッフ</td> <td>25</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>189</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td>35</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1,398</td> </tr> </table> <p>3 執 行 額</p> <p style="text-align: right;">5,500,000円 (補助金)</p>	開催日	会 場	来場者数	本祭	令和元年10月13日	平安神宮・岡崎周辺			約112,000人	#ファインダー越しの私の宮津	令和元年6月22日、23日	京都府青少年海洋センター	約50	タナバタフェス	令和元年7月6日	東山区古川町商店街周辺	約1,900	みんなわくわくファミリーフェスタ	令和元年9月8日	イオンモールKYOTO・京都五条	約8,000	企画参加者数	大学	短期大学	専修学校	学生数	実行委員数	27	—	—	248人	「京炎そでふれ！」おどり手	24	1	1	961	短期ボランティアスタッフ	25	1	2	189	計	35	2	3	1,398
開催日	会 場	来場者数																																																
本祭	令和元年10月13日	平安神宮・岡崎周辺																																																
		約112,000人																																																
#ファインダー越しの私の宮津	令和元年6月22日、23日	京都府青少年海洋センター	約50																																															
タナバタフェス	令和元年7月6日	東山区古川町商店街周辺	約1,900																																															
みんなわくわくファミリーフェスタ	令和元年9月8日	イオンモールKYOTO・京都五条	約8,000																																															
企画参加者数	大学	短期大学	専修学校	学生数																																														
実行委員数	27	—	—	248人																																														
「京炎そでふれ！」おどり手	24	1	1	961																																														
短期ボランティアスタッフ	25	1	2	189																																														
計	35	2	3	1,398																																														
			1まち1キャンパス事業 (大学政策課)	<p>1 施策の趣旨等</p> <p>大学等が市町村と連携し、当該市町村をフィールドとして取り組む大学等の授業や研究活動等のプロジェクトを支援することにより、京都全体をキャンパス化し、地域や企業と結び付いた教育環境を整備する。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="text-align: center;">指 標</td> <td style="text-align: center;">目 標</td> <td style="text-align: center;">実 績</td> </tr> <tr> <td>大学と市町村との連携事業数</td> <td>20プロジェクト</td> <td>17プロジェクト</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 大学・地域連携プロジェクトへの助成</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="text-align: center;">大学名</td> <td style="text-align: center;">プロジェクト数</td> <td style="text-align: center;">連携市町村名</td> <td style="text-align: right;">補助金</td> </tr> <tr> <td>京都大学</td> <td>2</td> <td>宮津市 南丹市</td> <td style="text-align: right;">200,000円 676,000</td> </tr> </table>	指 標	目 標	実 績	大学と市町村との連携事業数	20プロジェクト	17プロジェクト	大学名	プロジェクト数	連携市町村名	補助金	京都大学	2	宮津市 南丹市	200,000円 676,000																																
指 標	目 標	実 績																																																
大学と市町村との連携事業数	20プロジェクト	17プロジェクト																																																
大学名	プロジェクト数	連携市町村名	補助金																																															
京都大学	2	宮津市 南丹市	200,000円 676,000																																															

				<table border="0"> <tr><td>京都教育大学</td><td>1</td><td>笠置町</td><td>559,000</td></tr> <tr><td>福知山公立大学</td><td>2</td><td>福知山市</td><td>1,332,000</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>舞鶴市</td><td>100,000</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>南丹市</td><td>638,000</td></tr> <tr><td>立命館大学</td><td>1</td><td>福知山市</td><td>1,252,000</td></tr> <tr><td>龍谷大学</td><td>1</td><td>京丹後市</td><td>1,813,000</td></tr> <tr><td>龍谷大学他8大学</td><td>1</td><td>亀岡市</td><td>960,000</td></tr> <tr><td>龍谷大学他2大学</td><td>1</td><td>舞鶴市</td><td>158,000</td></tr> <tr><td>京都産業大学</td><td>2</td><td>綾部市</td><td>967,000</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>宇治市</td><td>750,000</td></tr> <tr><td>京都文教大学</td><td>1</td><td>京丹波町</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>関西大学</td><td>2</td><td>八幡市</td><td>2,000,000</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>亀岡市</td><td>1,800,000</td></tr> <tr><td>京都芸術大学</td><td>1</td><td>南山城村</td><td>155,000</td></tr> <tr><td>大阪国際大学</td><td>1</td><td>南丹市</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>大谷大学</td><td>1</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td>17</td><td></td><td>13,760,000</td></tr> </table>	京都教育大学	1	笠置町	559,000	福知山公立大学	2	福知山市	1,332,000			舞鶴市	100,000			南丹市	638,000	立命館大学	1	福知山市	1,252,000	龍谷大学	1	京丹後市	1,813,000	龍谷大学他8大学	1	亀岡市	960,000	龍谷大学他2大学	1	舞鶴市	158,000	京都産業大学	2	綾部市	967,000			宇治市	750,000	京都文教大学	1	京丹波町	200,000	関西大学	2	八幡市	2,000,000			亀岡市	1,800,000	京都芸術大学	1	南山城村	155,000	大阪国際大学	1	南丹市	200,000	大谷大学	1			計	17		13,760,000
京都教育大学	1	笠置町	559,000																																																																					
福知山公立大学	2	福知山市	1,332,000																																																																					
		舞鶴市	100,000																																																																					
		南丹市	638,000																																																																					
立命館大学	1	福知山市	1,252,000																																																																					
龍谷大学	1	京丹後市	1,813,000																																																																					
龍谷大学他8大学	1	亀岡市	960,000																																																																					
龍谷大学他2大学	1	舞鶴市	158,000																																																																					
京都産業大学	2	綾部市	967,000																																																																					
		宇治市	750,000																																																																					
京都文教大学	1	京丹波町	200,000																																																																					
関西大学	2	八幡市	2,000,000																																																																					
		亀岡市	1,800,000																																																																					
京都芸術大学	1	南山城村	155,000																																																																					
大阪国際大学	1	南丹市	200,000																																																																					
大谷大学	1																																																																							
計	17		13,760,000																																																																					
				<p>3 執行額 13,760,000円 (補助金)</p>																																																																				
3 交通対策費 (P84)	3,280,441,000 (4,172,887,000) 翌年度への繰越 事業費繰越額 253,594,000 (JR奈良線複線 化・高速化整備 事業費 9,631,000 北近畿タンゴ鉄 道緊急防災対策 強化事業費 152,046,000 鉄道駅舎バリア フリー化設備整 備事業費 34,525,000 鉄道駅利便性向 上整備事業費 (57,392,000)	2,941,360,755 (3,617,815,135) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 4,999,500 繰越金 7,154,255 府債 2,167,000,000 一般財源 762,207,000	JR奈良線複線化・高 速化整備事業 (交通政策課)	<p>1 施策の趣旨等 JR奈良線複線化整備に向けた取組を沿線市町と協働して実施し、沿線地域の利便性向上による地域活性化を図る。</p> <p>指標：府域における鉄道（JR在来線）の複線延長（累計） 目標：94.6km（令和4年度まで） 実績：80.6km</p> <p>2 施策の実施状況 複線化・高速化第二期事業に係る複線化本体事業（鉄道施設設計、線増工事）及び複線化に伴う関連事業（玉水駅、山城青谷駅及び六地藏駅）の支援を行った。</p> <p>3 執行額 1,714,547,000円 (補助金)</p> <p>1 施策の趣旨等 安心・安全・快適性を確保するための基盤部分（インフラ）を担う北近畿タンゴ鉄道株式会社への支援を行う。</p>																																																																				
			北近畿タンゴ鉄道支 援事業 (交通政策課)																																																																					

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<p>指標：年間利用人数 目標：200万人 実績：158万人</p> <p>2 施策の実施状況 基盤部分（線路・電路・車両）の維持管理等に係る経費に対するの支援を行い、安全対策の向上を図った。</p> <p>3 執 行 額 363,220,000円 (補助金)</p>
			北近畿タンゴ鉄道災害復旧事業 (交通政策課)	<p>1 施策の趣旨等 平成30年7月豪雨及び台風24号により被災した北近畿タンゴ鉄道施設の復旧に対して支援し、利用者の安心・安全の確保を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 応急工事により速やかな運行再開を図るとともに、本復旧工事により安心・安全な運行の確保を図った。</p> <p>3 執 行 額 99,946,614円 (補助金)</p>
			北近畿タンゴ鉄道緊急防災対策強化事業 (交通政策課)	<p>1 施策の趣旨等 北近畿タンゴ鉄道が緊急的に実施する防災対策強化事業に対して支援し、利用者の安全及び地域公共交通の維持・確保を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 豪雨により崩壊のおそれがある箇所における法面防護工等に対して支援を行った。</p> <p>3 執 行 額 138,737,712円 (補助金)</p>
			鉄道駅舎バリアフリー化設備整備事業 (交通政策課)	<p>1 施策の趣旨等 府域における交通拠点となる鉄道駅舎を対象に、バリアフリー化のための整備を行う事業者に対して助成し、高齢者・障害者等の移動の円滑化を図る。</p>

			<p>指標：3千人／日以上の利用がある駅舎のうち段差解消済の割合 共通目標※：100%（令和2年度まで）実績：91.4% ※鉄道駅利便性向上整備事業と共通の目標</p> <p>2 施策の実施状況 施行場所 補助金 J R 桃 山 駅 40,530,000円 J R 山 崎 駅 8,293,000 近 鉄 伊 勢 田 駅 1,846,000 J R 京 都 駅 1,640,000</p> <p>3 執 行 額 52,309,000円 (補助金)</p>
		<p>鉄道駅利便性向上整備事業 (交通政策課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 鉄道駅の総合的な改善を行う事業者に対して助成し、鉄道利用旅客の利便性、安全性の向上等を図る。</p> <p>指標：3千人／日以上の利用がある駅舎のうち段差解消済の割合 共通目標※：100%（令和2年度まで）実績：91.4% ※鉄道駅舎バリアフリー化設備整備事業と共通の目標</p> <p>2 施策の実施状況 施行場所 補助金 阪急／京福西院駅 83,538,429円 J R 西 大 路 駅 89,012,000</p> <p>3 執 行 額 172,550,429円 (補助金)</p>
		<p>生活交通ネットワーク 構築支援事業 (交通政策課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 過疎地域等における住民の交通確保を図るとともに、便利で使いやすい生活交通ネットワークの構築に向け、利用者・交通事業者・市町村・府等が協働し、利用者の視点に立った公共交通の改善を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 路線維持対策等補助事業 生活交通バス路線及び市町村運行確保バス等に対して助成し、生活交通の維持確保を</p>

科 目	予算現額	決算額	主要な施策	施策の実施状況と成果等						
	円	円	相楽東部地域公共交通再編事業 (交通政策課)	<p>図った。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">補助金</td> </tr> <tr> <td>路線維持対策補助金</td> <td style="text-align: right;">108路線 328,779,000円</td> </tr> <tr> <td>車両購入費等補助金</td> <td style="text-align: right;">38両 60,732,000</td> </tr> </table> <p>(2) 便利で使いやすい生活交通ネットワークの構築支援事業 交通事業者や市町村等との連携のもと、生活交通対策地域協議会や市町村が開催する地域公共交通会議などへの参画を通じて、利用促進策の検討やダイヤ、停留所、運行情報等の交通システムの改善を進めた。</p> <p>3 執行額 390,051,000円 (うち補助金 389,511,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 MaaSによるシームレスな移動と生活交通を確保し、活力ある地域づくりを推進する。</p> <p>2 施策の実施状況 南山城村域の交通網整備に合わせ、MaaSシステム（経路検索・利用予約・決済機能）を導入し、実証実験を行った。</p> <p>3 執行額 9,999,000円 (委託料)</p>		補助金	路線維持対策補助金	108路線 328,779,000円	車両購入費等補助金	38両 60,732,000
	補助金									
路線維持対策補助金	108路線 328,779,000円									
車両購入費等補助金	38両 60,732,000									
4 長寿社会政策推進費 (P84)	16,000,000 (118,341,000)	16,000,000 (117,955,812) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 8,000,000 一般財源 8,000,000	人生100年シニアパワー結集事業 (高齢者支援課)	<p>1 施策の趣旨等 人生100年時代を迎える中、シニアが社会の担い手として積極的に社会参加できるよう支援する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 社会参加に意欲的なシニアへの支援 社会参加を促進するためのセミナーや活躍の場に対応したスキルアップ研修などを実施した。 セミナー等受講者 364人</p> <p>(2) 活躍の場の掘り起こしとマッチング 京都SKYセンター、老人クラブ、NPO等との連携により高齢者施設でのボランティアや、近隣住民によるゴミ出しなど助け合い活動等の活躍の場の創出、マッチングを行った。 社会参加活動とのマッチング 61人</p>						

5 男女共同参画推進費 (P84)				<p>3 執行額 16,000,000円 (補助金)</p>									
	<p>90,514,000 (165,405,000)</p>	<p>89,698,370 (162,606,517) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 43,079,185 諸収入 1,050,000 一般財源 45,569,185</p>	<p>マザーズジョブカフェ 推進事業 (男女共同参画課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 再就職に向けたカウンセリング、職業紹介及び保育情報の提供等を行う「京都ジョブパークマザーズジョブカフェ」を運営するとともに、「北京都ジョブパークマザーズジョブカフェ」での相談等により、子育てしながら働きたい女性やひとり親家庭の方などのニーズに応じて、子育てと就業をワンストップで支援する。</p> <p>指標：相談者のうち、就職内定者数 目標：1,400人 実績：1,525人</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 利用状況・就職内定者数 延べ利用者数 28,831人 (1日平均 102人) うち延べ相談者数 19,082 就職内定者数 1,525</p> <p>(2) ママ再就職フェア 仕事と子育ての両立が可能な企業の出展による就職説明会を実施した。 開催回数 4回 出展企業数 36社 来所者数 101人</p> <p>(3) 一時保育の実施 京都ジョブパークマザーズジョブカフェ及び北京都ジョブパークマザーズジョブカフェ内の保育ルームで、就職活動中保育所が決まるまでの一時保育を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="1108 1018 1792 1109"> <thead> <tr> <th>場 所</th> <th>延べ利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京都ジョブパークマザーズジョブカフェ</td> <td>994人</td> </tr> <tr> <td>北京都ジョブパークマザーズジョブカフェ</td> <td>435</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) マザーズジョブカフェ巡回相談 マザーズジョブカフェへの来所が難しい女性を対象に府内6地域で就職に関する巡回相談を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="1108 1209 1489 1268"> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>72回</td> </tr> <tr> <td>延べ相談者数</td> <td>138人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 執行額 45,000,000円 (うち委託料 41,362,970円)</p>	場 所	延べ利用者数	京都ジョブパークマザーズジョブカフェ	994人	北京都ジョブパークマザーズジョブカフェ	435	開催回数	72回	延べ相談者数
場 所	延べ利用者数												
京都ジョブパークマザーズジョブカフェ	994人												
北京都ジョブパークマザーズジョブカフェ	435												
開催回数	72回												
延べ相談者数	138人												

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等									
	円	円	京都ウィメンズベース事業 (男女共同参画課)	<p>1 施策の趣旨等 「輝く女性応援京都会議」のもと、京都労働局、府、京都市、経済団体が一体となって運営する女性活躍支援拠点「京都ウィメンズベース」を中心に、企業における女性の活躍を重点的に支援する。</p> <table border="0" data-bbox="1099 371 1951 467"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">指 標</th> <th style="text-align: center;">目 標</th> <th style="text-align: center;">実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業主行動計画策定企業数（従業員300人以下の企業）</td> <td style="text-align: center;">40社</td> <td style="text-align: center;">41社</td> </tr> <tr> <td>「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証企業数</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td style="text-align: center;">50</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 大学連携京都版リカレント事業 出産・育児等により離職した女性を対象に、大学と連携したリカレント（学び直し・再就職支援）を実施した。 連携大学 京都光華女子大学・京都光華女子大学短期大学部、京都産業大学、京都精華大学 参加者 25人</p> <p>(2) 女性中核人材育成研修 企業の意思決定に参画できる役職（中核人材）への女性の登用を推進するため、研修を実施した。 開催回数 7回 参加者 延べ262人</p> <p>(3) 一般事業主行動計画策定支援 企業訪問による支援 311社</p> <p>(4) 女性活躍・ワーク・ライフ・バランス企業応援チームによる中小企業の取組支援 「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業の認証を進めるため、社会保険労務士等からなる女性活躍・ワーク・ライフ・バランス企業応援チームが中小企業を訪問し、中小企業のニーズに合わせた相談、研修等を実施した。 ワーク・ライフ・バランス推進宣言企業数 21社 累計 2,661社 「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証企業数 50 累計 457</p> <p>(5) 管理職・人事担当者向け研修 女性の部下を持つ管理職・人事担当者向けに女性活躍推進研修を実施した。 開催回数 4回 参加者 延べ56人</p> <p>(6) 女性社員向け研修 スキルアップや就業継続を目的とした研修を実施した。 開催回数 2回 参加者 延べ15人</p>	指 標	目 標	実 績	事業主行動計画策定企業数（従業員300人以下の企業）	40社	41社	「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証企業数	50	50
指 標	目 標	実 績											
事業主行動計画策定企業数（従業員300人以下の企業）	40社	41社											
「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証企業数	50	50											

			<p>女性の起業・経営支援事業 (男女共同参画課 中小企業総合支援課 ものづくり振興課)</p>	<p>3 執行額 25,500,370円 (うち委託料 17,603,312円)</p> <p>1 施策の趣旨等 アイデアを持った女性の社会参画を促し、女性起業家の裾野を広げるため、アイデアのブラッシュアップや顕彰を行い、事業化までを支援する。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 起業アイデアブラッシュアップ支援 「女性アントレプレナーサポートチーム」により、起業に係る基礎セミナー等を実施するとともに、「中小企業応援隊」との連携により、女性の起業アイデアのブラッシュアップを図った。 支援人数 延べ90人 (2) ネットワーク構築交流会の開催 ロールモデルとなる女性起業家や支援機関等との交流・意見交換を通じた事業拡大や、ネットワーク構築を図るための交流会を実施した。 参加人数 116人 (3) 京都女性起業家賞（アントレプレナー賞） 女性の起業モデルとなる事業を公募し、顕彰した。 受賞数 11件</p>
			<p>ドメスティック・バイオレンス対策事業 (男女共同参画課)</p>	<p>3 執行額 8,208,000円 (うち委託料 6,245,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 ドメスティック・バイオレンス（DV）について、広く府民への意識啓発を行うことで、被害者支援や防止を図る。 指標：自立支援計画を策定し継続的に支援する者（概ね2週間以上の家庭支援総合センター入所者） 目標：50件 実績：61件</p> <p>2 施策の実施状況 DVに関する講座の開催やグループカウンセリング等を実施し、被害者支援や被害の未然防止を図った。 (1) DV一般啓発講座 「DVを考えるつどい」を開催し、DV根絶の気運を醸成した。 講座数 2回</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	<p>京都女性活躍推進サミット開催事業 (男女共同参画課)</p>	<p>場 所 与謝野町加悦保健センター元気館 (与謝野町) ばれっとJOYO (城陽市)</p> <p>受講者 延べ54人</p> <p>(2) 自立支援グループカウンセリング 自立支援の一環として、DV被害者同士が体験を共有しつつ専門のカウンセラーの援助を受けるグループカウンセリング等を実施した。 参加者 延べ57人</p> <p>(3) 若年層向けデートDV防止啓発講座 中学生・高校生を対象にデートDV防止啓発講座を開催し、年代に応じた暴力を許さない意識づくりを進めた。 講座数 2回</p> <p>場 所 京丹後市立久美浜中学校 (京丹後市) 京都府立京都八幡高等学校 (八幡市)</p> <p>受講者 延べ170人</p> <p>(4) 加害者更生プログラム 被害者支援の一環として加害者が自らの加害に気づき、加害を繰り返さないための更生プログラムに取り組んだ。 相談者数 延べ41人 相談員養成研修による相談員養成数 1人</p> <p>3 執 行 額 2,490,000円</p> <p>1 施策の趣旨等 2016年に開催された伊勢志摩サミットの首脳宣言を受け、「あらゆる分野における女性活躍」をテーマに全国で開催されている、「WORK&WOMEN IN INNOVATION SUMMIT」(WIT)を開催。</p> <p>2 施策の実施状況 文化をはじめとする京都らしさを活かしたプログラムにより、次世代の「女性活躍」の推進に追い風となる「働き方」を全国に発信した。 開 催 日 令和2年1月31日 開催場所 京都経済センター 開催内容 第一線で活躍している女性による基調講演・パネルディスカッション、分科会の開催、共同宣言の採択等 参加者数 575人</p>

				<p>3 執行額</p> <p style="text-align: right;">8,500,000円 (うち委託料 8,470,000円)</p>
<p>6 青少年育成費 (P86)</p>	<p>99,951,000 (254,531,000)</p>	<p>98,642,270 (249,596,093)</p> <p>決算額の財源内訳 国庫支出金 21,203,055 一般財源 77,439,215</p>	<p>脱ひきこもり支援センター事業 (家庭支援課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 「脱ひきこもり支援センター」を中心に、ひきこもり状態にある者の早期把握、相談、社会適応訓練、自立までを一体的に支援する。</p> <p>指標：ひきこもり支援を受けてコミュニケーション能力や生活スキルなどが改善した人の割合 目標：64.0% 実績：64.3%</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 「脱ひきこもり支援センター」の運営 設置場所 家庭支援総合センター、福知山総合庁舎（北部サテライト） 支援コーディネーターの配置 5人 臨床心理士の配置 3</p> <p>(2) ひきこもり早期支援事業 社会的自立に向けた不登校児童生徒支援計画（アクションプラン）に基づき、「不登校・ひきこもり対応連携組織」を設置し、教育委員会と連携して不登校生徒へ中学在籍時から卒業後も見据えて対応する仕組みを構築した。 また、各教育局ごとに早期支援特別班の担当を配置し、学校との連携や定期的な不登校生徒の情報共有等、個々の状況に応じた支援を実施した。 早期支援特別班支援件数 56件</p> <p>(3) ひきこもり相談・外出支援事業 ひきこもりの長期化を防ぐため、臨床心理士等を中心とした「チーム絆」が、ひきこもり状態にある者や家族への面接相談、訪問支援等を行った。 また、ひきこもり状態にある者の社会参加を促進するため、個々の希望に応じた社会適応訓練を実施する団体に対し補助するとともに、支援ネットワークの構築やひきこもり支援情報ポータルサイトの運営により、ひきこもり状態にある者同士や支援者との交流、ネット相談等を実施した。 さらに、ひきこもり状態にある者の自立を図るため、職親体験、ファイナンシャルプランナーによる将来設計セミナー等を実施した。</p> <p>「チーム絆」相談件数 631件 ひきこもり状態にある者のための社会参加支援事業補助金交付件数 19 社会的ひきこもり支援ネットワーク連絡会議参加団体 35団体 ネット相談件数 69件 職親登録事業所（民間協力事業所） 113事業所 職親事業参加者 13人 将来設計セミナー参加者 123</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	非行少年等立ち直り支援事業 (家庭支援課)	<p>3 執 行 額 72,091,941円</p> <p style="text-align: right;">(うち報酬 15,536,914円 委託料 33,977,580)</p> <p>1 施策の趣旨等 非行等の問題を抱える少年の立ち直りを支援し、再非行の防止を図る。</p> <p>指標：寄り添い型立ち直り支援を受けた少年のうち、復学や就学、生活環境等が改善した割合 目標：60% 実績：61%</p> <p>2 施策の実施状況 支援コーディネーターを中心とした「立ち直り支援チーム」を運営し、京都市や警察、学校、家庭裁判所等と緊密に連携して、少年一人ひとりに適した支援プログラムを作成し、社会奉仕活動や就労等の体験活動、学習支援の実施等により、非行等の問題を抱える少年の立ち直りを支援した。 また、地域の民間団体との協働により、少年の学習支援や体験活動を行う「ユース・コミュニティ」を運営し、非行・再非行の未然防止を図った。</p> <p>(1) 「立ち直り支援チーム」の運営 設置場所 家庭支援総合センター、福知山総合庁舎（北部サテライト） 支援コーディネーターの配置 7人 臨床心理士の配置 1</p> <p>(2) 支援人数・体験受入登録事業所数 寄り添い型支援人数 54人 家庭裁判所との連携支援人数 45 体験受入登録事業所数 182事業所</p> <p>(3) 非行少年等立ち直り支援ネットワーク推進連絡会議 会議開催 1回</p> <p>(4) 「ユース・コミュニティ」の運営 設置場所 京都市西京区、宇治市、長岡京市及び精華町 参加者 延べ1,770人</p> <p>3 執 行 額 26,550,329円</p> <p style="text-align: right;">(うち報酬 16,993,400円 委託料 5,506,800)</p>

<p>3 徴 税 費</p> <p>2 賦課徴収費 (P86)</p>	<p>1,591,236,000 (6,413,298,400)</p>	<p>1,568,952,432 (6,383,818,876)</p> <p>決算額の財源 内訳 一般財源 1,568,952,432</p>	<p>京都地方税機構分担金 (税 務 課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 府及び府内市町村（京都市除く）の税業務を統合的に行うことにより、納税者の利便性向上や業務の効率化を図るとともに、公平公正な税業務の一層の推進を図る。</p> <p>指標：徴収率 目標：99.0% 実績：98.8%</p> <p>2 施策の実施状況 各構成団体の滞納案件に係る徴収業務並びに法人関係税及び自動車関係税の課税業務を実施した。</p> <p>(1) 府税の滞納に係る整理状況 ※延滞金・加算金除く 移管件数 36,980件 移管額 3,017百万円 移管総額（繰越分含む） 3,943 収納額 2,018</p> <p>(2) 法人関係税の事務共同化の取組状況 ※市町村分除く 申告書の受付調定件数 83,868件 更正・決定、加算金決定件数 3,464</p> <p>(3) 自動車関係税の事務共同化の取組状況 ※市町村分除く 申告書等の受付件数 246,107件</p> <p>3 執 行 額 1,568,952,432円 (分担金)</p>
<p>4 市町村振興費</p> <p>2 自治振興費 (P88)</p>	<p>2,148,090,000 (2,956,574,000)</p>	<p>2,056,150,962 (2,837,167,603)</p> <p>決算額の財源 内訳 繰 入 金 601,450,000 府 債 900,000,000 一般財源 554,700,962</p>	<p>きょうと地域連携交付金 (自治振興課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 府と市町村、市町村間の連携を強め、効果的な地域づくりを推進していくため、府の施策との相乗効果を発揮し、ともに地域の課題解決に取り組む市町村の事業を支援するとともに、市町村間の連携や行政サービス提供体制・公共施設運営のあり方の見直し・改善に取り組む市町村の取組を支援する。</p> <p>(1) 地域づくり連携推進事業 目標：子育て環境日本一の推進等府が重点的に取り組む施策において、府と市町村が連携した効果的な地域づくりの推進に寄与する事業を積極的に支援 実績：府内市町村（京都市除く）が府の施策との相乗効果を発揮する取組を実施</p> <p>(2) 市町村間連携推進事業 指標：市町村が他の市町村と連携して行う広域的な事業を支援 実績：22市町村等（一部事務組合・広域連合含む）、連携事業数19件</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等																														
	円	円		<p>(3) 行政サービス改革推進・小規模市町村支援事業 指標：公共施設の運営改善等、市町村における行財政コストの削減・効率化に資する事業を支援 実績：行政サービス提供体制の工夫を支援 8市町村 公共施設の運営改善、あり方の見直しを支援 8</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 地域づくり連携推進事業 全市町村において、府が推進する重点施策分野における府と市町村の連携を強めるとともに効果的な地域づくりに向けた取組の推進に寄与した。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: right;">件数</th> <th style="text-align: right;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域ぐるみによる子育て支援の推進</td> <td style="text-align: right;">127件</td> <td style="text-align: right;">583,537,000円</td> </tr> <tr> <td>広域周遊観光の促進</td> <td style="text-align: right;">44</td> <td style="text-align: right;">117,062,000</td> </tr> <tr> <td>地域経済を担う産業の創出等</td> <td style="text-align: right;">85</td> <td style="text-align: right;">359,903,000</td> </tr> <tr> <td>健康づくりの促進</td> <td style="text-align: right;">7</td> <td style="text-align: right;">11,598,000</td> </tr> <tr> <td>地域包括ケア推進体制の充実</td> <td style="text-align: right;">18</td> <td style="text-align: right;">55,450,000</td> </tr> <tr> <td>先進的な危機管理体制の構築</td> <td style="text-align: right;">76</td> <td style="text-align: right;">155,905,000</td> </tr> <tr> <td>多文化共生の推進</td> <td style="text-align: right;">6</td> <td style="text-align: right;">11,047,000</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">93</td> <td style="text-align: right;">266,446,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">456</td> <td style="text-align: right;">1,560,948,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 市町村間連携推進事業 市町村間で取り組む事務の共同処理による効率化、業務連携による施策効果の向上に資する取組を支援し、府内の市町村間連携の推進に寄与した。 9市6町1村6団体 139,052,000円</p> <p>(3) 行政サービス改革推進・小規模市町村支援事業 厳しい財政状況に置かれている市町村の行政サービス提供形態の工夫による行財政コストの削減、効率化に資する取組を支援し、持続可能な行政サービスの提供に向けた行財政基盤構築の推進に寄与した。 7市8町1村 200,000,000円</p> <p>3 執 行 額 1,900,000,000円 (交付金)</p> <p>1 施策の趣旨等 地域住民自らが相互に協力して地域社会の諸課題の解決に取り組む地域活動が継続して実施できるよう、周辺住民の協力が得られる環境の整備や他の活動団体や市町村、府等との連</p>		件数	金 額	地域ぐるみによる子育て支援の推進	127件	583,537,000円	広域周遊観光の促進	44	117,062,000	地域経済を担う産業の創出等	85	359,903,000	健康づくりの促進	7	11,598,000	地域包括ケア推進体制の充実	18	55,450,000	先進的な危機管理体制の構築	76	155,905,000	多文化共生の推進	6	11,047,000	その他	93	266,446,000	計	456	1,560,948,000
	件数	金 額																																
地域ぐるみによる子育て支援の推進	127件	583,537,000円																																
広域周遊観光の促進	44	117,062,000																																
地域経済を担う産業の創出等	85	359,903,000																																
健康づくりの促進	7	11,598,000																																
地域包括ケア推進体制の充実	18	55,450,000																																
先進的な危機管理体制の構築	76	155,905,000																																
多文化共生の推進	6	11,047,000																																
その他	93	266,446,000																																
計	456	1,560,948,000																																
			地域交響プロジェクト 推進費 (企画参事)																															

携・協働関係の構築を支援。

指標：地域課題の解決に取り組む活動に対する支援件数

目標：延べ525件

2 施策の実施状況

(1) 地域交響プロジェクト交付金

地域住民が相互に協力して課題解決に取り組む活動が継続して実施出来るよう、周囲の環境の整備や他団体、行政との連携・協働を目指す取り組みを支援した。

	件数	金額
重点課題対応プログラム	122件	41,956,000円
介護予防分野	(31)	(8,296,000)
見守り・生活支援分野	(5)	(3,483,000)
子育て分野	(64)	(25,285,000)
ひきこもり分野	(13)	(2,979,000)
防災分野	(9)	(1,913,000)
基盤強化プログラム	157	60,226,000
移住促進プログラム	4	7,500,000
ちーびず地域の支え合い推進プログラム	6	4,538,000
被災地支援活動（福島県大雨支援）	1	200,000
被災地支援プログラム（コロナ関連）	15	1,339,000
計	305	115,759,000

(2) 伴走支援・基盤強化事業

専門家による周囲との関係性構築の少人数制講座や伴走支援等により、NPO等地域活動団体の持続性強化やさらなる府民の参画に寄与した。

ア きょうとNPOアカデミー事業

NPO法人が自らの運営を振り返り、ステップアップのための組織基盤強化や安定的な自主財源の確保を目指す講座を実施し、法人の持続的な事業運営やさらなる共感の高まり、先進性・専門性の深化へとつなげた。

受講団体 15団体

イ 民間力による地域力再生促進事業

資金調達に関心を持っている団体に対して専門家によるセミナーを実施した。実際に取り組む団体に対しては、専門家による定期的な相談の機会を設け、自立できるように伴走支援を実施した。

専門家によるセミナー参加者数 101人（68団体）

相談会による伴走支援団体 18団体

（本庁3、山城3、南丹6、中丹2、丹後4）

ウ ビジネス的手法による地域力支援事業

府政の重点課題の解決や地域で自立的に活動を行う団体に対し、ビジネス的手法を用いた課題解決への伴走支援を実施した。

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家によるセミナー参加者数 延べ78人 ・ 専門家派遣（ハンズオン支援）件数 41件 <p>3 執 行 額</p> <p style="text-align: right;">156,150,962円 (うち補助金 116,119,000円)</p>
<p>5 選 挙 費</p> <p>3 参議院議員 選挙費 (P90)</p>	<p>1,058,001,000 (1,058,001,000)</p>	<p>1,055,962,984 (1,055,962,984)</p> <p>決算額の財源 内訳 国庫支出金 1,055,962,984</p>	<p>参議院議員通常選挙 (自治振興課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 令和元年7月28日任期満了に伴う参議院議員通常選挙であり、その概要は、次のとおりである。</p> <p>2 施策の実施状況 参議院議員通常選挙を適正に管理・執行した。</p> <p>選 挙 期 日 令和元年7月21日 選挙すべき定数 2人 立 候 補 者 数 5 当日の有権者数 2,126,435 投 票 者 数 987,180 投 票 率 46.42%</p> <p>3 執 行 額</p> <p style="text-align: right;">1,055,962,984円 (うち交付金 944,355,311円)</p>
<p>4 府議会議員 選挙費 (P90)</p>	<p>562,485,000 (562,485,000)</p>	<p>562,485,000 (562,485,000)</p> <p>決算額の財源 内訳 一 般 財 源 562,485,000</p>	<p>府議会議員一般選挙 (自治振興課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 平成31年4月29日任期満了に伴う京都府議会議員一般選挙であり、その概要は、次のとおりである。</p> <p>2 施策の実施状況 京都府議会議員一般選挙を適正に管理・執行した。</p> <p>選 挙 期 日 平成31年4月7日 選挙すべき定数 60人(25選挙区計) 立 候 補 者 数 88 当日の有権者数 1,671,276 投 票 者 数 669,052 投 票 率 40.03%</p>

				3 執行額 562,485,000円 (うち交付金 524,033,498円)
6 防災費				
1 防災総務費 (P92)	2,172,049,000 (2,699,612,711) 翌年度への繰越 事業費繰越額 379,000,000 (原子力災害対策 施設整備事業費 349,000,000 避難所等緊急実 態調査費 30,000,000)	1,750,759,944 (2,277,951,590) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 842,530,487 寄附金 585,635 府債 865,000,000 一般財源 42,643,822	原子力防災対策事業 (原子力防災課)	1 施策の趣旨等 適切な原子力防災対策の推進を図る。 目標：UPZ（原子力発電所から概ね30km圏）内の市町等と合同で、平成30年度の課題検証を踏まえた原子力総合防災訓練等を実施し、避難計画等の実効性の向上を図る。 実績：原子力総合防災訓練を実施 (参加機関約40機関、約4,000人)
			原子力災害対策施設整備事業 (原子力防災課)	2 施策の実施状況 原子力災害に備え、避難訓練の実施、原子力防災資機材の整備及び緊急時連絡網の管理運営等により、原子力防災体制の充実・強化を図った。 原子力発電所緊急時安全対策事業 ・原子力発電所事故時の避難訓練（図上・実動）の実施 実施日 原子力総合防災訓練 令和元年11月30日 場所 福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、南丹市、京丹波町、伊根町 ・原子力防災資機材の整備 住民向け避難ガイド、避難時通過証の作成 等 ・緊急時連絡網の管理運営
				3 執行額 176,026,863円
				1 施策の趣旨等 原子力発電所の周辺地域住民の安全確保のため、要配慮者施設や屋内退避施設の放射線防護工事及び資機材整備の支援を実施する。 指標：要配慮者施設等の放射線防護工事及び資機材整備の支援 目標：3箇所 実績：3箇所
				2 施策の実施状況 原子力災害発生時に、即時避難が困難な要配慮者等が一時的に退避できる施設を確保する

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等								
	円	円		<p>ため、要配慮者施設等の放射線防護工事、資機材整備に助成した。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">施設名</td> <td style="width: 40%;">箇所数</td> </tr> <tr> <td>養護老人ホーム</td> <td>1箇所</td> </tr> <tr> <td>病院</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>放射線防護対策施設</td> <td>1</td> </tr> </table> <p>3 執 行 額 666,503,624円 (補助金)</p>	施設名	箇所数	養護老人ホーム	1箇所	病院	1	放射線防護対策施設	1
施設名	箇所数											
養護老人ホーム	1箇所											
病院	1											
放射線防護対策施設	1											
			マルチハザード情報活用促進事業 (災害対策課)	<p>1 施策の趣旨等 災害時に府民一人ひとりが自らの安全を確保する行動がとれるよう、マルチハザード情報提供システムの運用・保守を行うとともに、ハザード情報を随時更新する。</p> <p>2 施策の実施状況 府管理河川（66河川）の洪水浸水想定区域図や避難施設等のハザード情報を更新した。</p> <p>3 執 行 額 10,861,000円 (委託料)</p>								
			総合防災訓練等実施事業 (災害対策課)	<p>1 施策の趣旨等 防災関係機関の連携強化や防災意識の高揚を図るため、地震や水害を想定した訓練及び防災教育を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 総合防災訓練 地震及び水害の複合災害の発生を想定し、平成30年度災害対応の総合的な検証結果等を踏まえた総合防災訓練を実施した。 実 施 日 令和元年9月1日 場 所 長岡京市 参加機関 約80機関 参 加 者 約1,000人</p> <p>(2) 防災教育・啓発 防災に関する知識・技術を体系的・実践的に修得するための出前講座を実施した。 実施回数 19回 参 加 者 669人</p>								

			<p>(3) 災害ボランティアセンターの設置・運用研修 現地災害ボランティアセンターの早期設置や活動支援を行える人材育成のための研修を実施した。 実施回数 6回 参加者 277人</p> <p>3 執行額 4,266,331円 (うち委託料 2,832,080円)</p>									
		<p>災害時声掛け隊創設事業 (危機管理総務課) (災害対策課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 地域の災害リスクの把握や水害等避難行動タイムラインの作成を通じて、地域防災の担い手となる災害時声掛け人材を養成する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害時声掛け人材養成者数</td> <td>100人</td> <td>374人</td> </tr> <tr> <td>水害等避難行動タイムライン作成市町村数</td> <td>7市町村</td> <td>5市町</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施策の実施状況 (1) 災害時声掛け人材養成研修の実施 養成者数 374人、8回(京都市、南丹地域各1回、山城地域、中丹地域、丹後地域各2回) (2) 水害等避難行動タイムラインのモデル作成支援自治会等 5市町 宇治市(檜島東地区防災対策会議)、亀岡市(保津町自治会)、八幡市(第一区自治会)、木津川市(南平尾地区)、久御山町(双栗自治会)</p> <p>3 執行額 1,902,022円</p>	指標	目標	実績	災害時声掛け人材養成者数	100人	374人	水害等避難行動タイムライン作成市町村数	7市町村	5市町
指標	目標	実績										
災害時声掛け人材養成者数	100人	374人										
水害等避難行動タイムライン作成市町村数	7市町村	5市町										
		<p>被災者生活再建支援事業 (災害対策課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 被災者生活再建支援法に基づき、自然災害による被災者の生活再建を支援する被災者生活再建支援基金を活用して、平成30年7月豪雨等による被災者の生活再建を支援し、併せて今後の自然災害にも備える。</p> <p>2 施策の実施状況 各都道府県が共同で造成する被災者生活再建支援基金の府分担金を拠出した。</p> <p>3 執行額 860,461,000円 (出資金)</p>									

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	<p>総合防災情報システム 整備事業 (災害対策課)</p> <p>被災地支援事業 (職員総務課 危機管理総務課 災害対策課 府民環境総務課 健康福祉総務課 医療課 監理課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 災害対応力の強化を図るため、防災情報システムの機能強化を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 多言語発信機能や備蓄物資管理機能等を追加し、機能拡充を図るとともに、サーバのクラウド化による業務継続性の確保に向けた防災情報システムの基本設計を実施した。</p> <p>3 執 行 額 19,977,640円 (うち委託料 19,288,600円)</p> <p>1 施策の趣旨等 令和元年東日本台風により被災した福島県からの要請を踏まえ、家屋被害認定調査や健康相談等を行う職員等を派遣し、被災地を支援する。</p> <p>2 施策の実施状況 被災地支援のため、職員派遣等を行った。 延べ 383人 (主な内訳)</p> <p>(1) 関西広域連合先遣隊 派遣期間 令和元年10月15日～10月23日 派遣人数 延べ 37人</p> <p>(2) DMAT (災害派遣医療チーム) 派遣期間 令和元年10月15日～10月20日 派遣人数 延べ 6</p> <p>(3) 災害マネジメント総括支援チーム 派遣期間 令和元年10月17日～11月15日 派遣人数 延べ 56</p> <p>(4) 保健師チーム 派遣期間 令和元年10月22日～11月2日 派遣人数 延べ 59</p> <p>(5) 家屋被害認定調査 派遣期間 令和元年10月27日～11月6日 派遣人数 延べ 108</p> <p>(6) 災害廃棄物処理マネジメントチーム 派遣期間 令和元年11月6日～12月6日 派遣人数 延べ 57</p> <p>(7) 災害査定支援土木技術職員 派遣期間 令和元年11月11日～11月30日 派遣人数 延べ 60</p> <p>3 執 行 額 10,761,464円</p>

<p>2 消防連絡調整費 (P92)</p>	<p>129,073,000 (265,803,000)</p>	<p>127,287,184 (263,879,927) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 1,924,616 府 債 28,000,000 一般財源 97,362,568</p>	<p>わがまちの消防団強化 ・応援事業 (危機管理総務課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 消防団員の確保等、消防団が実施する取組を支援し、安心安全な地域づくりを推進する。 指標：消防団員充足率 目標：100% 実績：89.3% (令和2年4月1日現在)</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 消防団活動活性化支援 消防団員の確保や活動活性化を支援し、各地域における消防団活動の充実強化を推進した。</p> <p>ア わがまちの消防団強化交付金 内 容 消防団の自主的な取組に対する支援 実 績 55消防団 活用団員数 17,652人</p> <p>イ 地域防災力総合支援事業 内 容 消防団車両等の整備に対する支援 実 績 6市町</p> <p>ウ 消防団の裾野拡大の取組 内 容 経験者・女性・大学生等への働きかけによる消防団への加入促進 実 績 消防団員OBの登録 延べ75人 大学生消防防災サークル数 “ 13大学 (新規 2大学、継続 11大学)</p> <p>エ 京都府消防団応援の店事業 内 容 府内飲食店等の登録店舗で割引サービス等を提供することにより、府内の消防団員やその家族を応援する制度の創設及び運用 実 績 111店舗</p> <p>(2) 消防団員確保対策 SNSやラジオ等による消防団加入促進キャンペーンを実施した。</p> <p>(3) ふるさとレスキュー事業 府内中山間地において、災害時などに消防団員等の地域住民が協力し、現地でいち早く人が救助等を行う「ふるさとレスキュー」の立上げを支援した。</p> <table border="0" data-bbox="1120 1069 1478 1181"> <tr> <td>取組地域</td> <td>人数</td> </tr> <tr> <td>平屋 (南丹市)</td> <td>81人</td> </tr> <tr> <td>川上 (京丹後市)</td> <td>49</td> </tr> </table> <p>3 執 行 額 127,287,184円 (うち補助金 127,134,137円)</p>	取組地域	人数	平屋 (南丹市)	81人	川上 (京丹後市)	49
取組地域	人数									
平屋 (南丹市)	81人									
川上 (京丹後市)	49									

